

松戸市立博物館年報

第27号 — 平成31／令和元年度（2019）



松戸市立博物館
MATSUDO MUSEUM

はじめに

昨年は5月に新天皇が即位され、令和の時代が始まりました。年が明けて、オリンピック・パラリンピックだという時に、新型コロナウイルス感染症が世界的に広がり、我が国でも予定されていた事業などが中止や延期という事態に追い込まれています。博物館も例外ではありません。これから当分の間、厳しい事態が続きそうです。

さて、昨年度の当館の主な活動について、ご報告させていただきます。

まず、展覧会ですが、夏には企画展「こどもミュージアムーおとなも楽しい歴史体験ー」を開催しました。企画展は、例年、秋に開催していましたが、今回は親子で楽しんでもらう展示ということで、夏休みに合わせて開催しました。モノにさわる展示、手を動かしてパズルを楽しみながら学ぶ展示など、親子で楽しんでいただく展示が好評を博しました。

年が明けてからの、館蔵資料展「小金城と根本内城」は、市民の関心が高く、展示解説会には毎回大勢の方がいらっしゃいました。しかし、新型コロナウイルス感染症対策のため会期途中で中止になってしまったのは大変残念でした。

その他では、「博物館アワード」が4年目を迎え、優秀作品が数多く寄せられました。この企画が博学連携の一環として広く浸透してきたことがうかがわれました。

また、博物館の館外活動として人気のある「松戸駅前博物館」が、1回目は開催できましたが、2回目が中止になってしまったことも残念でした。

新型コロナウイルスに対するワクチンも治療薬も見つかっていない現在、明るい見通しは立っていませんが、職員一同、博物館友の会と手を携えて事業を進めていく所存ですので、市民の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

令和2年9月25日

松戸市立博物館館長

松戸市立博物館年報 第27号

I	沿革	3
II	施設の概要	5
III	事業の概要	6
1	常設展示	
	(1) 総合展示	
	(2) 主題展示	
	(3) 野外展示	
	(4) 映像展示	
2	資料・企画展示	9
	(1) 館蔵資料展「カメラがとらえた松戸の風景―戦後から平成まで―」	
	(2) 企画展「こどもミュージアム―おとなも楽しい歴史体験―」	
	(3) 館蔵資料展「縄文貝塚 貝の花遺跡」	
	(4) 館蔵資料展「小金城と根本内城」	
	(5) 公益財団法人出土遺物公開事業「eco 生活事始め―考古資料から見た上手な資源の使い方」	
3	学習支援	29
	(1) 講演会	
	(2) 講座	
	(3) 体験学習	
	(4) ミュージアムシアター・プレイルーム	
	(5) 館内公開	
	(6) ガイドツアー（常設展示解説）	
	(7) 情報提供	
4	連携事業	39
	(1) 博学連携プログラム	
	① 受入	
	② 派遣	
	③ 事業	
	(2) その他	
5	調査・研究	44
	(1) 松戸市古文書調査（委託）	
	(2) 研究員の活動	
	(3) 学芸員の活動	
6	資料の収集と利用	47
	(1) 資料の収集	
	(2) 博物館資料の貸出	
	(3) 博物館資料の特別利用	
	(4) 資料の燻蒸	
7	平成31／令和元年度常設展・企画展アンケート結果	52
	(1) 平成31／令和元年度常設展	
	(2) 館蔵資料展「カメラがとらえた松戸の風景―戦後から平成まで―」	
	(3) 企画展「こどもミュージアム―おとなも楽しい歴史体験―」	
	(4) 館蔵資料展「縄文貝塚 貝の花遺跡」	
	(5) 館蔵資料展「小金城と根本内城」	
IV	組織と運営	57
1	組織	
2	歳出予算	
3	事務事業	
4	各種委員会等	
5	博物館利用者数の統計	
6	来訪者	
V	条例・規則	62
	職員名簿	

I 沿 革

年月	事項
昭和 39 年 12 月	松戸市公民館に郷土資料室設置 (50㎡)
昭和 46 年 4 月	(財)松戸市開発協会内に移転、松戸市郷土資料館となる。(227.47㎡)
昭和 49 年 11 月	松戸市文化ホール内に移転、郷土資料コーナーとなる。(330㎡)
昭和 56 年 3 月	松戸市文化ホールが博物館相当施設となる。
5 月	松戸市美術館 (郷土資料館及び古文書館を含む) 構想調査会条例制定 松戸市美術館構想調査会発足 [委員 7 名]
昭和 58 年 8 月	松戸市美術館構想調査会、松戸市美術館 (郷土資料館及び古文書館を含む) 構想について答申 (18 回開催)
昭和 59 年 4 月	社会教育部内に美術館準備室設置
6 月	松戸市美術館 (郷土資料館及び古文書館を含む) 建設調査会発足 [委員 10 名]
11 月	松戸市美術館建設調査会、美術館について答申
昭和 60 年 3 月	松戸市美術館建設調査会、郷土資料館・古文書館について答申 (7 回開催)
昭和 63 年 9 月	市議会に文化施設建設対策特別委員会設置 [委員 15 名]
10 月	第 4 次総合 5 ヶ年計画で郷土博物館 (仮称) 建設決定 美術館準備室に博物館担当学芸員を配属
11 月	松戸市立郷土博物館展示検討委員会発足 [委員 10 名]
12 月	建設用地を総合公園「21 世紀の森と広場」内と決定 松戸市立郷土博物館設立懇談会発足 [委員 8 名]
平成 元年 3 月	文化施設建設対策特別委員会において建築設計事務所選定方式をプロポーザル方式と決定 松戸市立郷土博物館設立懇談会において展示の基本構想を決定
4 月	文化施設建設対策特別委員会において展示設計業者選定方式を特命方式と決定
8 月	総合公園「21 世紀の森と広場」内に建設位置決定
11 月	松戸市立郷土博物館建築設計事務所選定委員会発足 [委員 8 名]
12 月	展示基本設計を(株)乃村工芸社に委託 建築設計事務所を(株)佐藤総合計画に決定
平成 2 年 2 月	建築基本設計を(株)佐藤総合計画に委託
3 月	建築実施設計を(株)佐藤総合計画に委託
6 月	展示実施設計を(株)乃村工芸社に委託
9 月	博物館本体工事を大成・海老澤共同企業体と契約 博物館新築工事着手
平成 3 年 9 月	展示工事及び展示物製作を(株)乃村工芸社に委託、工事・製作着手
平成 4 年 1 月	外構工事着手
3 月	植栽工事着手
4 月	美術館準備室から分かれ、博物館開設室設置
6 月	建築工事、外構工事竣工
7 月	野外展示工事着手、植栽工事竣工
9 月	松戸市立博物館条例制定 (館名「松戸市立博物館」に決定)
12 月	野外展示工事竣工
平成 5 年 1 月	展示工事竣工
3 月	松戸市立博物館管理運営規則制定
4 月	松戸市立博物館開館 (29 日) 初代岩崎卓也館長就任 開館記念展 (期間: 4 月 29 日から 6 月 13 日まで)「松戸写真館—カメラがとらえた松戸の人々」を開催
10 月	松戸市立博物館協議会発足 [委員 10 名]

年月	事項
平成 6 年 4 月 6 月	機構改革にともない市立図書館より市史編さん係を移管 館蔵「幸田貝塚出土品」266 点 国重要文化財指定（28 日付）
平成 7 年 6 月	博物館登録 千葉県教育委員会 平成 7 年 6 月 9 日 登録番号第 30 号 博物館資料数 4,385 点 歴史資料 1,686 点 考古資料 2,650 点 民俗資料 49 点
平成 8 年 10 月	博物館等資料選定評価委員会発足〔委員 5 名〕
平成 9 年 3 月	博物館開館 5 周年記念特別展示（期間：3 月 20 日から 5 月 11 日まで） 「シルクロードとガンダーラ」展を開催
平成 10 年 4 月	博物館事業として「自然史」を加える。（松戸市立博物館条例改正） 機構改革にともない市史編さん係を廃し庶務係に吸収する。
平成 13 年 10 月	観覧料に「共通観覧料」を設ける。（松戸市立博物館条例改正）
平成 14 年 6 月	松戸市立博物館友の会発足（16 日）
平成 15 年 10 月	松戸市制施行 60 周年記念・松戸市立博物館開館 10 周年記念特別展示（期間：10 月 11 日から 11 月 30 日まで）「川の道 江戸川」展を開催
平成 20 年 3 月 4 月 10 月	初代岩崎卓也館長退任 2 代関根孝夫館長就任 組織改革により、係制を廃止 ハイビジョンシアターをミュージアムシアターに改称 松戸市立博物館開館 15 周年記念特別展示（期間：10 月 11 日から 12 月 7 日まで） 「縄文時代の東・西」展を開催
平成 21 年 5 月	市史編さん委員会に、原始・古代及び中世各部会を設置し、松戸市史上巻改訂事業に本格的に着手
平成 23 年 3 月 4 月	東日本大震災発生（11 日） 観覧料「中学生以下は無料」となる。（松戸市立博物館条例改正）
平成 24 年 3 月 4 月	2 代関根孝夫館長退任 3 代望月幹夫館長就任
平成 25 年 10 月	松戸市制施行 70 周年記念・松戸市立博物館開館 20 周年記念特別展示（期間：10 月 5 日から 11 月 24 日まで）「松戸の発掘 60 年史ー市内の遺跡を再検討ー」展を開催
平成 26 年 12 月	「松戸市立博物館等資料選定評価委員会設置要綱」を条例化し、「松戸市立博物館等資料選定評価委員会条例」を制定（平成 27 年 4 月 1 日施行）
平成 27 年 2 月	『松戸市史 上巻（改訂版） 原始・古代・中世』を刊行
平成 30 年 4 月	松戸市立博物館管理運営規則第 5 条の観覧料の免除等の (1)「大学生及び大学生以下の者を引率する者」を追加、(3)「身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者」の市内要件を撤廃
平成 30 年 9 月	松戸市制施行 75 周年記念・松戸市立博物館開館 25 周年記念特別展示（期間：9 月 22 日から 11 月 25 日まで）「ガンダーラー仏教文化の姿と形ー」展を開催
平成 31 年 3 月	松戸市制施行 75 周年・松戸市立博物館開館 25 周年企画展示（期間：3 月 9 日から 3 月 24 日まで）「日本の太鼓・世界の太鼓」展を開催。21 世紀の森と広場に所在する 21 世紀の森と広場公園管理事務所、森のホール 21、および当館による初の連携企画。
令和元年 10 月	消費税率引き上げに伴う観覧料改定
令和 2 年 3 月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（3 月 2 日から 3 月 31 日まで）

Ⅱ 施 設 の 概 要

建築の概要

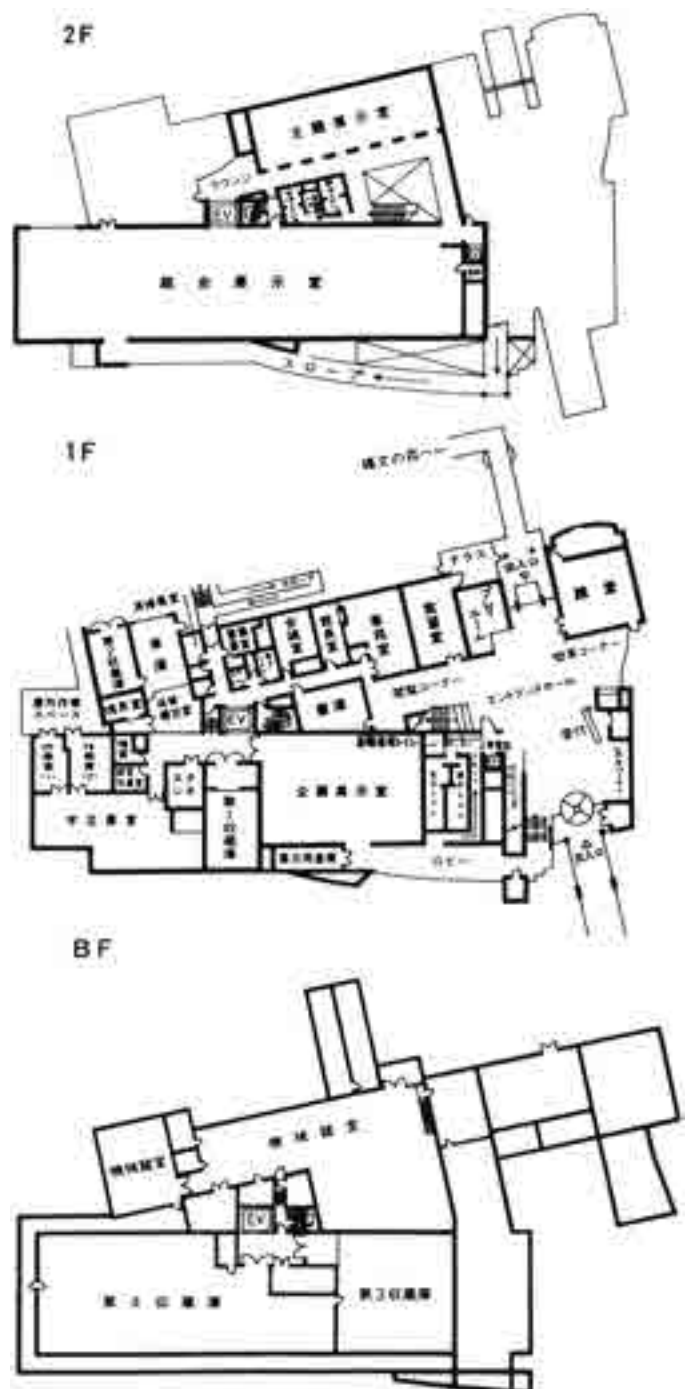
- 1) 敷地面積 7,795.81㎡ 2) 建築面積 2,709.92㎡
 3) 延床面積 5,446.73㎡ 1階 2,515.17㎡／2階 1,542.92㎡／地下1階 1,388.64㎡
 4) 階 数 地下1階・地上2階 5) 構 造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造（展示室 PRC 梁構造）
 6) 高 さ 14.4 m

注）博物館周辺環境との調和をはかるため高さを15 m以内に、また地下水などの水脈保全のため地下部分についても10 m以内に制限して建設を行った。

【各室の面積】

区分	室名	室数	階層	面積(㎡)
展示部門	総合展示室	1	2	873.40
	主題展示室	1	2	215.09
	企画展示室	1	1	318.85
	展示用倉庫	1	1	33.12
	小計			1,440.46
収蔵・保存部門	第1収蔵庫	1	1	102.67
	第2収蔵庫	1	1	46.20
	第3収蔵庫	1	B1	231.38
	第4収蔵庫	1	B1	472.41
	車庫・荷解梱包室	1	1	109.54
	作業室(1)	1	1	33.71
	作業室(2)	1	1	42.98
	燻蒸室	1	1	31.32
	小計			1,070.21
教育普及部門	講堂	1	1	124.88
	実習室	1	1	70.97
	プレイルーム	1	1	51.60
	閲覧コーナー	—	1	78.80
	ビデオコーナー	—	1	45.66
	小計			371.91
調査研究部門	書庫	1	1	50.19
	学芸員室	1	1	193.49
	スタジオ・暗室	1	1	40.30
	研究作業室	1	1	16.99
	小計			300.97
管理部門	館長室	1	1	33.03
	事務室	1	1	83.98
	会議室	1	1	38.27
	警備員室	1	1	25.03
	清掃室	1	1	10.67
	機械諸室	—	B1	575.49
	管理共有部分	—	1	424.54
	小計			1,191.01
サービス部門	エントランスホール	—	1	333.12
	喫茶コーナー	—	1	56.29
	ロビー	—	1	106.32
	スロープ	—	—	196.91
	共有部分	—	—	379.53
	小計			1,072.17
	合計			5,446.73

【各階の平面図】



III 事業の概要

1 常設展示

(1) 総合展示

ゾーン1 人類の登場

■ 松戸のあけぼの

旧石器時代の展示空間は常設展示室の入り口部分、展示全体の導入部であるので、短時間で旧石器時代に関心を抱いてもらえるように、見てわかる展示を心がけた。特に実資料（石器）の展示については、単に「石」の羅列にならないように、3つの展示スペース相互に関連をもたせた。

ゾーン2 狩りと採集のムラ

■ 縄文人の暮らし

近年の相次ぐ発掘調査の成果は、これまでの縄文時代の生活に対する私達のイメージを一変させている。ここでは、遺跡から出土する動物・植物遺存体を手がかりにして、ムラの外での生業活動の復元を行い、貝の花貝塚の復元模型を中心にムラの中での日常生活の復元を行っている。

■ ムラのうつりかわり

縄文時代は安定した食糧供給に支えられて、人々は定住を始め、やがてムラを営むようになった。この縄文時代草創期から晩期にいたるムラの盛衰と生活基盤の変化を、幸田貝塚・子和清水貝塚・貝の花貝塚など、市内の遺跡の出土資料等を使用して、明らかにしようと試みている。

■ 人々の交流

縄文時代の人々は、近隣だけでなく、遠く離れた地域の人々とも交流していたことが、遺跡から出土する土器・石器などによってわかる。ここでは、松戸市内から出土した石器石材の産地推定を通して、松戸を中心とした縄文時代の人々の交流圏や、石材の入手経路について、展示を行っている。

ゾーン3 稲作社会の誕生

■ 米作りの暮らし

弥生時代になって中国大陆や朝鮮半島から多くの人々が日本に到来し、様々な新しい技術をもたらした。とりわけ、古墳時代の変化を松戸市域の出土資料を用いて展示している。

■ 古墳の出現

前方後円墳という共通の形の墓が全国で築かれた古墳時代における松戸市域の特質を、河原塚古墳群や栗山古墳群などの出土遺物を用いて展示を行っている。

ゾーン4 下総国のはじまり

■ 古代の松戸

古代の松戸周辺は下総国西端の葛飾郡に含まれていた。下総国の国府は市川市国府台周辺にあったと考えられており、この時期の松戸市域は政治的求心力のある国府の近郊地域として位置づけられる。

ゾーン5 武士と民衆

■ 千葉氏と高城氏

武士が政権の座に就いた中世、鎌倉時代の松戸市域では千葉氏の一族が登場する。本拠とした風早郷を名乗った風早氏である。室町から戦国時代にかけては高城氏が勢力を伸ばした。戦国後期に大谷口小金城を本拠とした高城氏は、東葛飾地域最大の領主となった。高城氏は戦国大名間の争いの渦中で、次第に後北条氏の支配に属するようになり、やがて豊臣秀吉の天下統一により滅亡を余儀なくされた。関連する文書資料お

よび小金城出土資料などから同氏の当該期における位置づけを解説している。

■ 中世人の生と死

中世の人々は現世のみならず来世での幸福を強く願った。市内に残存する資料からその具体的な信仰を探った。板碑は供養碑としてとくに関東地方で流行した。市内の武蔵型板碑の出土地を見ると、多くは小さな谷が入り組んだ台地の縁辺部であるところから、中世人の生活空間が推量される。また関東中世史の研究に欠かせない「本土寺過去帳」所載の地名と一致する場合も多い。過去帳はその存在自体が人々の往生願望の現れであるが、ほかにも合戦記事、多くの職人の名などが見える。展示においてはその豊富な内容の一端を解説している。

ゾーン6 町場と村

■ 近世の村

近世社会に入っころの松戸市域はほとんどが農村で、幕末でも松戸宿・小金宿を除き 53 の村（新田村を含む）に分かれていた。近世の領主は、村を行政単位として年貢などを徴収したり、宗門改めや五人組制度等によって農民を支配し、村では名主・組頭などの村役人を代表者として生産・生活を営んでいた。一方、当時の農村生活の楽しみには、庚申講などでの共同飲食や、お伊勢参りなど寺社参詣の旅があった。

■ 宿場と河岸

松戸市域には水戸道沿い松戸宿と小金宿の 2 つの宿場町があった。幕府の交通政策によって公的に設定された宿は、単なる交通の拠点としてでなく、周辺の流通・経済の中心地として発展した。特に江戸川岸に河岸場が発達した松戸宿は、陸上交通だけでなく、江戸川と利根川の河川交通・流通の中継基地という性格が加わり、また江戸川の対岸金町に幕府が関所を設けたので旅籠も多く、下総北西部の重要な町場に発展した。

■ 小金牧と御鹿狩

下総台地には古代から馬の牧場が設置され放牧が行われていた。江戸幕府はこの台地に直轄の牧場、小金牧・佐倉牧を開設するが、大半が小金牧に含まれた市域は、牧を管理する野馬奉行役宅や金ヶ作役所が設けられ、牧支配の中核地だった。また、徳川将軍家は「御鹿狩」と呼ばれた大規模な狩りを小金原で計 4 回行ったが、その舞台は現在の松飛台周辺だった。この狩りには、小金原の地元はもちろん武蔵・上総など 4 か国から農民が勢子として動員されたが、めったにない娯楽的要素もあった。

ゾーン7 都市へのあゆみ

■ 松戸 1868 ～ 1960

近代を迎えた松戸は葛飾県、印旛県をへて千葉県に編入される。郡役所、郵便局、警察、裁判所が置かれ、東葛飾郡の行政の中心となった。19 世紀末から 20 世紀初頭にかけては常磐線、流鉄、東武野田線（いずれも現在の名称）が市内を通過し、交通網の整備がすすむ。やがて戦争の時代にいたると多くの市民が戦場へ駆り出され、あるいは銃後の生活を強いられた。戦後の松戸は常盤平団地に象徴されるように、首都圏の住宅供給地として、大きくその景観、産業構造を変貌させている。このような近現代での松戸の変化を絵年表を中心に、市域の変遷図、土地利用変遷図などの資料を用い、日本史全体の流れを考慮しつつ解説している。

■ 下谷・谷津・台

松戸市が現在のような姿になったのは、昭和 30 年～40 年代の高度経済成長期に大規模な宅地開発や工業団地の造成が行われたことが大きい。この時期には人口の社会増が大きく、市民の生活も全体的な景観も大きく変貌した。ここでは、下谷・谷津・台というフォークタムから、市域を江戸川低地（下谷）、下総台地の開析谷周辺（谷津）、下総台地の平坦面（台）の 3 種類に分け、大きな変貌を遂げる直前の昭和 30 年代前半の景観模型をもとに、地形、水利、生産形態、住まい方などを例にとって先人の人々の生活の場がどのようなものであったのかを対比的に説明している。

■ 常盤平団地の誕生

松戸市は昭和 30 年代の半ばから、その大半を占めていた近郊農村から首都圏の住宅都市へと急激にその姿を変貌させていくが、その先駆けとなったのが常盤平団地であった。この団地の住民の大半が首都圏の企

業に勤めるサラリーマンの家庭で、住宅都市を目指していた松戸市の新しい市民像を代表していた。この展示では、あるサラリーマン家庭の昭和 37 年の暮らしが当時の生活財によって原寸大の 2 D K のなかに復元されている。

(2) 主題展示

主題 1 考古学と科学の眼

総合展示室で復元されている 4000 年前の縄文時代に存在した森はどのようにして復元されたのか、また、縄文時代の海岸線をどのようにして知ることが出来たのか。あるいは、文字などのなかった遙か昔の年代がなぜ分かるのか、といった主に自然科学的な手法を用いた歴史の復元方法を紹介している。

主題 2 虚無僧寺一月寺

江戸時代の小金宿には、青梅鈴法寺とともに普化宗総本山だった一月寺があり、全国に知られていた。中国唐代の普化禅師を宗祖とする禅宗の一派だった普化宗と、その僧侶である虚無僧が、近世前期に成立して近世中期に最盛期を迎えたこと、また、映像によって虚無僧の姿や生活の歴史や、江戸時代虚無僧に独占された尺八の歴史・音楽などを紹介している。

主題 3 二十世紀梨の誕生

果物のナシの代表品種「二十世紀梨」は、現在鳥取県での栽培が有名であるが、実は明治時代に現在の松戸市内で松戸覚之助少年に偶然発見され、次第に全国で栽培されたのであった。そのため、現在市内に「二十世紀が丘」の地名が残るが、この展示室では発見者松戸覚之助のことや、発見以前（江戸時代）から盛んであった下総東葛地域のナシ栽培の歴史、また映像により現在の市内梨園での二十世紀梨の開花から収穫までの栽培の様子を紹介している。

主題 4 三匹獅子舞

松戸市内の 3 地区で演じられている獅子舞は、ひと組の踊り手が 3 人からなる「三匹獅子舞」と呼ばれるものである。シシ（獅子）が登場する芸能は日本国内ではなじみ深いものであるが、一口にシシといっても、頭の形・演じ方ともにさまざまな違いがあることは意外に知られていない。ここでは山路興造氏の所説をもとに、三匹獅子舞の特徴、一人立ちの獅子舞と二人立ちの獅子舞の差異、絵画史料にみる一人立ちの獅子舞と風流踊、といった観点から三匹獅子舞の系譜と地域的広がりを映像を用いて解説している。

(3) 野外展示

竪穴住居復元

博物館北側の台地に、市内の遺跡から発掘された住居跡の資料に基づいて、縄文時代中期の竪穴住居 3 棟を原寸復元した。常時、竪穴住居 1 棟を開放し、住居内を自由に見学できるようになっている。

(4) 映像展示

ビデオコーナー

■ ビデオ映像

松戸市内に関わりのある映像ソフト 7 作品を製作して公開している。

- ①大地に埋もれた歴史 ②町並み今昔物語 ③富士講
- ④万作を語る ⑤三匹獅子舞～和名ヶ谷～ ⑥三匹獅子舞～上本郷～
- ⑦三匹獅子舞～大橋～

2 資料・企画展示

(1) 館蔵資料展「カメラがとらえた松戸の風景―戦後から平成まで―」

◆展示意図

広報広聴課が1950年代から半世紀にわたり撮影した「広報まつど」用写真の活用である。膨大なフィルム形式の写真の第一次整理が完了したことをうけて、選りすぐりの写真50点余りを展示し、松戸市の現代史を辿った。

◆主催 松戸市立博物館（担当 中山文人〈当館学芸員〉）

※担当者の異動に伴い中山が引き継ぎ

◆後援（公財）松戸市文化振興財団、（一社）松戸市観光協会

◆協力 新京成電鉄株式会社、北総鉄道株式会社、流鉄株式会社

◆会期 平成31年4月23日（火）～令和元年6月9日（日）[43日間]

◆観覧者数 2,924人

◆印刷物 ポスター B2判 300枚

チラシ A4判 10,000枚

展示資料リスト A4判 3,000枚（館内で印刷）



◆展示資料

No.	タイトル	撮影年月日
1	松戸駅東口／駅前道路	昭和30年（1955）
2	松戸駅西口広場	昭和32年（1957）
3	松戸駅西口／駅前商店街	昭和38年（1963）頃
4	松戸市立第一中学校／火災現場	昭和39年（1964）12月14日
5	松戸駅西口	昭和40年頃（1965）
6	常盤平駅	昭和41年（1966）
7	常盤平駅／駅前広場	昭和41年（1966）
8	常盤平／団地を視察する佐藤栄作首相	昭和41年（1966）9月22日
9	小金城址駅	昭和42年（1967）
10	馬橋駅前／市長の交通指導員	昭和44年（1969）5月12日
11	小金原／小金原団地入居風景	昭和44年（1969）
12	五香駅	昭和45年（1970）
13	上本郷駅	昭和45年（1970）
14	六実駅	昭和45年（1970）
15	松戸駅西口／子ども祭仮装行列	昭和49年（1974）
16	常盤平／さくら祭り	昭和47年（1972）
17	松戸駅東口	昭和48年（1973）
18	松戸駅西口広場	昭和48年（1973）
19	新松戸駅／開駅式	昭和48年（1973）
20	北松戸／松戸競輪場前踏切	昭和48年（1973）
21	日暮／子と清水遺跡発掘調査	昭和49年（1974）2月
22	松戸駅西口／野菜の安売りデー	昭和49年（1974）7月
23	松戸市立河原塚小学校／第一回入学式	昭和49年（1974）4月6日
24	松戸駅東口／バス乗り場	昭和49年（1974）
25	松戸市立常盤平第二小学校	昭和49年（1974）
26	松風荘／千葉県警察本部音楽隊	昭和49年（1974）

No.	タイトル	撮影年月日
27	松戸駅西口／第一回松戸まつり	昭和 49 年 (1974)
28	松戸市立第一中学校／市民運動会 (おんぶ競争)	昭和 49 年 (1974) 10 月 10 日
29	松戸市立第一中学校／市民運動会 (綱引き)	昭和 49 年 (1974) 10 月 10 日
30	常盤平／パンダ保育所早朝ランニング	昭和 49 年 (1974)
31	五香南二丁目／町会自作の山車	昭和 51 年 (1976)
32	馬橋駅西口／馬橋連合町会防犯訓練	昭和 52 年 (1977) 10 月 30 日
33	馬橋駅東口／駅前商店街	昭和 52 年 (1977)
34	馬橋西口／駅前ロータリー	昭和 52 年 (1977) 3 月
35	新松戸／新松戸三丁目付近	昭和 53 年 (1978)
36	椀台駅前	昭和 55 年 (1980)
37	馬橋駅西口／台風 24 号の水害	昭和 56 年 (1981) 10 月
38	北小金駅	昭和 57 年 (1982)
39	常盤平／桜並木	昭和 57 年 (1982)
40	新松戸／秋の交通運動	昭和 59 年 (1984) 9 月 24 日
41	馬橋駅西口／駅前広場噴水	昭和 59 年 (1984)
42	新松戸／踏み車	昭和 59 年 (1984) 7 月 24 日
43	常盤平／さくら祭り	昭和 60 年 (1985)
44	松戸駅西口／平潟遊郭跡	昭和 60 年 (1985)
45	松戸市角町／松戸駅方面を望む	昭和 60 年 (1985)
46	大橋／胡録神社	昭和 60 年 (1985)
47	五香駅／駅前踏切	昭和 60 年 (1985)
48	小金原／若芝交差点	昭和 61 年 (1986) 11 月
49	幸田／幸田第一公園	昭和 62 年 (1987)
50	松戸駅西口／坂川市民清掃運動	昭和 63 年 (1988)
51	博物館の開館を待つ人々	平成 5 年 (1993) 4 月 29 日
52	縄文フェスティバル (縄文の森にて)	平成 5 年 (1993) 5 月 2 日

(2) 企画展「こどもミュージアム—おとも楽しい歴史体験—」

◆展示意図

子育て中の家族が「わがまち」である松戸の歴史や文化と一緒に楽しく学べることを意図して開催した。この展覧会では、実物資料にふれたり、様々な歴史体験をすることで、松戸の歴史や昔の生活に興味を持ってもらうとともに、こどもたちの自発的な学ぶ意欲と力を育てることを目的とした。さらに、実施にあたっては博物館友の会の協力を得て多彩なイベントを開催し、市民が集える展覧会とした。

- ◆主催 松戸市立博物館（企画担当 青木俊也〈当館学芸員〉）
- ◆会期 令和元年7月20日（土）～9月16日（日）[51日間]
- ◆会場 松戸市立博物館企画展示室
土曜ワークショップサテライト会場
- ◆観覧者数 5,109人
- ◆観覧料 無料
- ◆印刷物

ポスター	B2判	650枚
ポスター	B3判	410枚
チラシ	A4判	40,000枚
ワークシート（探検手帳）		10,000枚



◆展示資料

縄文時代をたんけんしよう！

コーナー名称	展示項目	No.	展示形態	資料名称	備考
縄文土器をしらべてみよう！	縄文土器パズルにちょうせん！	1	体験展示	縄文土器立体パズル	子と清水遺跡出土土器（資料No. 18）のレプリカ
	縄文土器をもってみよう！（レプリカ）	2	体験展示	縄文土器レプリカ（深鉢形）	
		3	体験展示	縄文土器レプリカ（注口土器）	
	ホンモノの土器のかけらにさわってみよう！	4	体験展示	縄文土器破片	紙敷遺跡出土
		5	体験展示	縄文土器破片	紙敷遺跡出土
		6	体験展示	縄文土器破片	紙敷遺跡出土
		7	体験展示	縄文土器破片	紙敷遺跡出土
		8	体験展示	縄文土器破片	紙敷遺跡出土
		9	体験展示	縄文土器破片	紙敷遺跡出土
		10	体験展示	縄文土器破片	紙敷遺跡出土
		11	体験展示	縄文土器破片	紙敷遺跡出土
	縄文のもようをつけよう！	12	体験展示	縄文の文様付け体験道具一式	粘土・縄・竹べら・延ばし棒
	遺跡から出土した縄文土器	13	実物展示	台付土器	幸田遺跡出土 重要文化財
		14	実物展示	深鉢形土器（片口付）	幸田遺跡出土 重要文化財
		15	実物展示	深鉢形土器	幸田遺跡出土 重要文化財
		16	実物展示	深鉢形土器（片口付）	幸田遺跡出土 重要文化財
		17	実物展示	深鉢形土器（片口付）	幸田遺跡出土 重要文化財
		18	実物展示	深鉢形土器	子と清水遺跡出土
		19	実物展示	深鉢形土器	子と清水遺跡出土
		20	実物展示	深鉢形土器	貝の花遺跡出土
		21	実物展示	注口土器	貝の花遺跡出土

コーナー名称	展示項目	No.	展示形態	資料名称	備考
縄文土器をしらべてみよう！	遺跡から出土した縄文土器	22	実物展示	注口土器と蓋形土製品	貝の花遺跡出土
		23	実物展示	注口土器	貝の花遺跡出土
		24	実物展示	異形土器	貝の花遺跡出土
縄文時代のくらしをしらべてみよう！	貝を食べる	25	体験展示	貝当てクイズ	
		26	実物展示	出土した貝（9種類）	
	魚をつかまえる	27	実物展示	土器片錘（3点）	子と清水遺跡出土
	動物を狩る	28	実物展示	石鏃（5点）	子と清水遺跡出土
		29	実物展示	獣骨（シカ）	幸田遺跡出土
		30	実物展示	獣骨（イノシシ）	幸田遺跡出土
	料理をする	31	体験展示	石皿（レプリカ）	
		32	体験展示	木の実（6種類）	
		33	実物展示	煮炊用土器（復元）	
	土器の底からわかること	34	実物展示	敷物の圧痕（土器底部）（3点）	貝の花遺跡出土
		35	実物展示	編布製作具（復元）	
	縄文人の服を着てみよう！	36	体験展示	試着体験用アングイン衣装一式	衣装7点、帽子3点、ポシェット3点
	アクセサリーをつける	37	実物展示	滑車形耳飾（2点）	貝の花遺跡出土
		38	実物展示	貝輪（2点）	貝の花遺跡出土
		39	実物展示	腰飾（2点）	貝の花遺跡出土
	いのり 土偶	40	実物展示	土偶（4点）	貝の花遺跡出土

80年ぐらい前のくらしをたんけんしよう！

コーナー名称	展示項目	No.	展示形態	資料名称	備考
つかってみよう！くらしの道具	昔の道具ではこんでみよう！	41	体験展示	背負いかご	
		42	体験展示	天秤棒と桶	
		43	体験展示	風呂敷	
	昔の洗たくの道具	44	体験展示	たらい	
		45	体験展示	洗たく板	
		46	体験展示	手押しポンプ	
		47	体験展示	手桶	
		48	体験展示	柄杓	
	昔の道具ではかってみよう！	49	体験展示	杓（一合・五合・一升）	
		50	体験展示	一斗杓と斗かき	
		51	体験展示	バネ秤	
		52	体験展示	台秤	
		53	体験展示	尺ざし	
		54	体験展示	曲尺	
		55	体験展示	五寸ものさし	
	蚊帳に入ってみよう！	56	体験展示	蚊帳	
くらしのなかの着物	着物って、どんなもの？	57	実物展示	男の子 絹の着物（単衣）	
		58	実物展示	男の子 木綿の着物と羽織（袷）	
		59	実物展示	女の子 木綿の着物（単衣）	
		60	実物展示	女の子 絹の着物（単衣）	
		61	実物展示	女の子 絹の着物と羽織（袷）	
		62	実物展示	男の人 麻の着物（単衣）	
		63	実物展示	男の人 木綿の着物（袷）	
		64	実物展示	女の人の帯	
		65	実物展示	男の人の帯（角帯と兵児帯）	
	とくべつな日の着物	66	実物展示	女の子 三歳の祝い着（袷）	
		67	実物展示	男の子 七歳の祝い着（袷）	

コーナー名称	展示項目	No.	展示形態	資料名称	備考
くらしのなかの 着物	とくべつな日の着物	68	実物展示	花嫁の振袖の衣装	
		69	実物展示	花嫁衣装の装身具一式	
	着物を着てみよう！	70	体験展示	試着体験用着物（4着）	男女単衣（小学生対象）
	着物はどんな糸で織られているのか、さわってみよう！	71	体験展示	木綿の材料（綿花・木綿糸・紬糸・紬布）	
		72	体験展示	麻の材料（麻・麻糸・麻布）	
		73	体験展示	絹の材料（繭・真綿・絹糸・絹布・紬糸・紬布）	
		74	体験展示	さわれる着物（木綿・絹・麻）	
		75	実物展示	高機	

江戸時代から明治時代の絵で松戸を知ろう！

コーナー名称	No.	展示形態	資料名称	備考
江戸時代の絵 浮世絵	76	実物資料	富士三十六景 下総小金原	
御鹿狩	77	実物資料	千代田之御表 松戸宿船橋	
	78	実物資料	千代田之御表 小金原牧狩立場之図	
	79	実物資料	温故東の花 将軍家於小金原御猪狩之図	
江戸川の船	80	実物資料	名所江戸百景 鴻の台とね川の景	
	81	実物資料	富士三十六景 鴻之台とね川	
	82	実物資料	東京両国通運会社川蒸気往復繁栄真景之図	
絵のパズルであそんでみよう！	83	体験資料	浮世絵パズル（2点）	資料 No.79、80 の複製パズル
絵のなかにいる動物のおりがみをおってみよう！	84	体験資料	折り紙・見本・折り図（一式）	シカ、イノシシ、ウマ、ウサギ、キツネ

昭和時代の写真で松戸を知ろう！

コーナー名称	No.	資料名称
知ってる場所あるかな？～昭和時代などの松戸の写真～ 【展示内容】 大正から昭和時代にかけて撮影された市内各所の写真を、松戸市の地図とともにパネルに表示し展示した。	85	小金城趾駅(1967年/昭和42年)
	86	北小金駅前(1954年/昭和29年)
	87	稲刈り(1952年/昭和27年)
	88	夏の姉妹(1951年/昭和26年)
	89	農家の働く妻と姉妹(1954年/昭和29年)
	90	流山鉄道：流鉄馬橋駅(1968年/昭和43年)
	91	台風24号の水害(馬橋駅西口)(1981年/昭和56年)
	92	畑の妻とその母(1954年/昭和29年)
	93	六間川(1935年/昭和10年頃)
	94	北松戸駅(1958年/昭和33年)
	95	小僧弁天(1936年/昭和11年頃)
	96	坂川排水機(樋野口)(1909年/明治42年)
	97	陸軍工兵学校(1936年/昭和11年以前)
	98	松戸小学校(1930年/昭和5年頃)
	99	千葉県立園芸高等学校(1929年/昭和4年以前か)
	100	凍った坂川(1935年/昭和10年頃)
	101	春雨橋と小僧さん(1936年/昭和11年)
	102	松戸角町(1936年/昭和11年以前)
	103	江戸川の釣り(1934年/昭和9年)
	104	葛飾橋(1936年/昭和11年以前)
	105	松戸町水泳場(1915年/大正4年)
	106	江戸川(1936年/昭和11年)

コーナー名称	No.	資料名称
知ってる場所あるかな？ 〈昭和時代などの松戸の写真〉	107	矢切の渡し船（1968 年 / 昭和 43 年）
	108	常盤平団地（1962 年 / 昭和 37 年）
	109	団地の家族（1960 年 / 昭和 35 年）
	110	子和清水（1958 年 / 昭和 33 年）
	111	八柱霊園（1936 年 / 昭和 11 年頃）
	112	六実ゴルフ場（1936 年 / 昭和 11 年以前）
	113	六実駅改札（1983 年 / 昭和 58 年）
知ってる場所あるかな？ 〈松戸の写真クイズ〉	114	幸田第一公園（1987 年 / 2019 年）
	115	新松戸駅（旧国鉄 / J R）（1973 年 / 2019 年）
	116	小金城址駅（流鉄流山線）（1967 年 / 2019 年）
	117	旭町 坂川端の石造物（1986 年 / 2019 年）
	118	馬橋駅（流鉄流山線）（1954 年 / 2019 年）
	119	馬橋駅（旧国鉄 / J R）（1968 年 / 2019 年）
	120	北松戸競輪場前踏切 / 北松戸競輪場前歩行者用の橋（旧踏切）（1973 年 / 2019 年）
	121	上本郷駅（新京成線）（1970 年 / 2019 年）
	122	古ヶ崎小僧弁天（1936 年 / 2019 年）
	123	松戸駅西口（1957 年 / 2019 年）
	124	松戸駅東口商店街（1971 年頃 / 2019 年）
	125	坂川市民清掃行動デー / 坂川（1988 年 / 2019 年）
	126	下横町の旧渡道場（1977 年 / 2019 年）
	127	角町交差点（1985 年 / 2019 年）
	128	北小金駅前（1954 年 / 2019 年）
	129	北小金駅（旧国鉄 / J R）（1954 年 / 2019 年）
	130	小金原若芝交差点（1986 年 / 2019 年）
	131	常盤平駅（新京成線）（1966 年 / 2019 年）
	132	常盤平スロープ歩道（1974 年 / 2019 年）
	133	五香駅前商店街（1970 年頃 / 2019 年）
	134	五香駅（新京成線）（1970 年 / 2019 年）
	135	六実駅（旧東武野田線 / 東武アーバンパークライン）（1970 年 / 2019 年）
	136	常盤平 子和清水（1986 年 / 2019 年）
	137	八柱霊園（1936 年 / 2019 年）
	138	河原塚古墳（1986 年 / 2019 年）
	139	八柱駅（新京成線）（1970 年 / 2019 年）
	140	運動公園体育館（1974 年 / 2019 年）

◆関連行事

■土曜ワークショップ「天秤棒で桶をかついでみよう」（博物館友の会共催）（会場：当館 1 階テラス）

	開催日	時間	対象者	講師	参加人数
第 1 回	令和元年 7 月 20 日(土)	13 時 00 分～ 16 時 00 分の間 で随時	こどもから 大人まで	博物館友の会有志	43 人
第 2 回	8 月 3 日(土)				27 人
第 3 回	8 月 10 日(土)				34 人
第 4 回	8 月 17 日(土)				25 人
第 5 回	8 月 24 日(土)				29 人
第 6 回	8 月 31 日(土)				14 人
第 7 回	9 月 14 日(土)				28 人
内容	天秤棒で桶をかつぐ体験をした。				

■土曜ワークショップ「たらいとせんたく板でせんたくしてみよう」（博物館友の会共催）（会場：当館1階テラス）

	開催日	時間	対象者	講師	参加人数
第1回	令和元年7月20日(土)	13時00分～ 16時00分の 間で随時	こどもから 大人まで	博物館友の会有志	31人
第2回	8月3日(土)				18人
第3回	8月10日(土)				34人
第4回	8月17日(土)				32人
第5回	8月24日(土)				66人
第6回	8月31日(土)				17人
第7回	9月14日(土)				35人
内容	手押しポンプを使い、たらいに水をはり、せんたく板で手ぬぐいを洗濯する体験をした。				

■土曜ワークショップ「機織りをしてみよう」（博物館友の会共催）（会場：当館企画展示室ロビー）

	開催日	時間	対象者	講師	参加人数
第 1 回	令和元年 7 月 27 日(土)	13 時 00 分～ 16 時 00 分の 間で随時	こどもから 大人まで	博物館友の会サークル・ はたくさの会有志	18 人
第 2 回	8 月 10 日(土)				25 人
第 3 回	8 月 24 日(土)				22 人
第 4 回	9 月 7 日(土)				25 人
内容	機織の道具を使って、裂き織りの体験をした。				

■土曜ワークショップ「縄文土器であそんでみよう」（博物館友の会共催）（会場：当館企画展示室ロビー）

	開催日	時間	対象者	講師	参加人数
第1回	令和元年8月3日(土)	13時00分～ 16時00分の 間で随時	こどもから 大人まで	博物館友の会サークル・ 縄文の会有志	33人
第2回	9月14日(土)				73人
内容	縄文土器のレプリカに触れたり、粘土に文様をつける体験をした。				

■土曜ワークショップ「風呂敷をつかってみよう」（博物館友の会共催）（会場：当館企画展示室）

	開催日	時間	対象者	講師	参加人数
第1回	令和元年7月27日(土)	13時00分～ 16時00分の 間で随時	こどもから 大人まで	博物館友の会有志	48人
第2回	8月10日(土)				62人
第3回	8月24日(土)				47人
第4回	9月7日(土)				82人
内容	風呂敷でさまざまな形の物を包み、昔のくらしの工夫を体験した。				

■「紙芝居をたのしもう！」（会場：当館企画展示室ロビー）

	開催日	時間	対象者	講師	参加人数
第1回	令和元年8月11日(日)	各日 ① 13時00分～	こどもから 大人まで	峯岸照恭氏 (大江戸ヤッサン一座 代表)	72人
第2回	8月18日(日)	② 14時00分～			102人
		③ 15時00分～			
内容	昔の子どもたちが楽しんだ紙芝居の口演。				

(3) 館蔵資料展「縄文貝塚 貝の花遺跡」

◆展示意図

貝の花遺跡の調査は1964年から行なわれ、1973年に発掘調査報告書が刊行された。報告の内容は当時の考古学界から注目され、報告書刊行から45年経った2018年現在においても高く評価されている。

しかし、45年の間に考古学に関する多くの知見が蓄積されてきたので、現在の視点から出土品を見直し新しい貝の花遺跡像を描き出すことも一方では必要なことと思われる。

そこでこの展覧会では、貝の花遺跡の出土品を再検討・再評価し、その結果を展示という形で市民の方々に公表した。併せて、貝の花遺跡の出土品（土器・土製品・石器・骨角器など）を網羅的に紹介するコーナーも設けた。

- ◆主 催 松戸市立博物館（企画担当 大森隆志〈当館学芸員〉）
- ◆後 援 （公財）松戸市文化振興財団 （一社）松戸市観光協会
千葉テレビ放送株式会社
- ◆協 力 新京成電鉄株式会社 流鉄株式会社 北総鉄道株式会社
- ◆会 期 令和元年10月5日（土）～11月24日（日）[44日間]
- ◆会 場 松戸市立博物館企画展示室
- ◆観覧者数 3,103人
- ◆観 覧 料 無料
- ◆印 刷 物 ポスター B2判 300枚
チラシ A4判 10,000枚
ペーパークラフト（2種） 1,402枚（館内で印刷）
展示品リストA3判（二つ折り4頁） 1,000部（館内で印刷）



◆関連企画

- ・講演会①「新しい貝の花遺跡の姿」（博物館友の会共催 会場：当館講堂）

対 象 者 一般

開催月日 令和元年10月19日（土）13時00分～15時00分

講 師 大森隆志（当館学芸員）

参加人数 58人

- ・講演会②「縄文の美を楽しむー海辺の縄文文化ー」

対 象 者 一般

開催月日 令和元年10月26日（土）13時00分～15時00分

講 師 井出浩正氏（東京国立博物館教育講座室長）

参加人数 53人

- ・展示解説会

対 象 者 一般

開催月日 令和元年10月13日（日）、11月16日（土）・24日（日）
各日14時30分～（所要時間約30分）

講 師 大森隆志（当館学芸員）

参加人数 延べ52人

- ・ぬりえ&しおりづくり（会場：企画展示室前ロビー・閲覧コーナー）

対 象 者 一般

期 間 令和元年11月2日(土)～11月24日(日) 各日9時30分～17時00分
 内 容 土偶などの展示資料をモチーフにしたオリジナルしおりづくりのコーナーを設け、体験を実施した。
 参加人数 288人

◆展示資料

I. はじめてわかった縄文集落の全貌

II. 様々な出土品

縄文土器

No.	資料名	出土地点	時期	点数	備考
1	深鉢形土器(ふかばちがたどき)	11号住居跡	縄文時代中期	1	
2	深鉢形土器(ふかばちがたどき)	16号住居跡	縄文時代中期	1	
3	深鉢形土器(ふかばちがたどき)		縄文時代中期	1	
4	深鉢形土器(ふかばちがたどき)	33号住居跡	縄文時代中期	1	
5	深鉢形土器(ふかばちがたどき)	埋甕HD	縄文時代中期	1	
6	深鉢形土器(ふかばちがたどき)	34号住居跡	縄文時代中期	1	
7	深鉢形土器(ふかばちがたどき)	埋甕N	縄文時代後期	1	
8	深鉢形土器(ふかばちがたどき)	埋甕F	縄文時代後期	1	
9	深鉢形土器(ふかばちがたどき)	埋甕H	縄文時代後期	1	
10	深鉢形土器(ふかばちがたどき)		縄文時代後期	1	
11	注口土器(ちゅうこうどき)		縄文時代後期	1	
12	注口土器(ちゅうこうどき)		縄文時代後期	1	
13	深鉢形土器(ふかばちがたどき)	28号住居跡	縄文時代後期	1	
14	深鉢形土器(ふかばちがたどき)	28号住居跡	縄文時代後期	1	
15	深鉢形土器(ふかばちがたどき)		縄文時代後期	1	
16	注口土器(ちゅうこうどき)		縄文時代後期	1	
17	深鉢形土器(ふかばちがたどき)	22号住居跡	縄文時代後期	1	
18	深鉢形土器(ふかばちがたどき)	22号住居跡	縄文時代後期	1	
19	台付碗(だいつきわん)	18号住居跡	縄文時代後期	1	
20	深鉢形土器(ふかばちがたどき)	18号住居跡	縄文時代後期	1	
21	鉢形土器(はちがたどき)	5号住居跡	縄文時代後期	1	
22	深鉢形土器(ふかばちがたどき)		縄文時代後期	1	
23	注口土器(ちゅうこうどき)	18号住居跡	縄文時代後期	1	
24	深鉢形土器(ふかばちがたどき)		縄文時代晩期	1	
25	深鉢形土器(ふかばちがたどき)		縄文時代晩期	1	
26	皿形土器(さらがたどき)	12号住居跡	縄文時代晩期	1	
27	浅鉢形土器(あさばちがたどき)	12号住居跡	縄文時代晩期	1	
28	鉢形土器(はちがたどき)		縄文時代晩期	1	
29	台付鉢(だいつきばち)		縄文時代晩期	1	
30	浅鉢形土器(あさばちがたどき)	12号住居跡	縄文時代晩期	1	
31	浅鉢形土器(あさばちがたどき)	12号住居跡	縄文時代晩期	1	
32	台付異形土器(だいつきいけいどき)		縄文時代後期	1	

土製品

No.	資料名	時期	点数	備考
1	小形土器(こがたどき)	縄文時代後・晩期	6	
2	蓋形土製品(ふたがたどせいひん)	縄文時代後期	4	
3	土偶(どぐう)	縄文時代後・晩期	11	

No.	資料名	時期	点数	備考
4	土版（どばん）	縄文時代晩期	4	
5	亀の子形土製品（かめのこがたとせいひん）	縄文時代後・晩期	2	
6	耳飾（みみかざり）	縄文時代後・晩期	3	
7	有孔円板形土製品（ゆうこうえんばんがたとせいひん）	縄文時代晩期	4	

石器・石製品

No.	資料名	時期	点数	備考
1	石鏃（せきぞく）	縄文時代中～晩期	6	
2	石匙（いしさじ）	縄文時代中期	1	
3	磨製石斧（小型）（ませいせきふ（こがた））	縄文時代後・晩期	5	
4	磨製石斧（ませいせきふ）	縄文時代中・後期	3	
5	打製石斧（だせいせきふ）	縄文時代中～晩期	5	
6	石皿（いしざら）	縄文時代中～晩期	2	
7	磨石類（すりいしるい）	縄文時代中～晩期	3	
8	砥石（といし）	縄文時代後・晩期	3	
9	石剣（せっけん）	縄文時代晩期	3	
10	石棒（せきぼう）	縄文時代後・晩期	2	

骨角器・貝製品

No.	資料名	時期	点数	備考
1	骨角器（こっかくき）	縄文時代後・晩期	13	
2	有孔貝製品（ゆうこうかいせいひん）・貝輪（かいわ）	縄文時代後・晩期	10	

III. 石器石材から貝の花縄文人の交易を考える

No.	資料名	点数	備考
A	ホルンフェルス	原石（げんせき）	2
		打製石斧（だせいせきふ）	2
B	片状砂岩（へんじょうさがん）	原石（げんせき）	2
		打製石斧（だせいせきふ）	2
E	緑泥片岩（りよくでいへんがん）	原石（げんせき）	1
		石棒（小型）（せきぼう（こがた））	1
		打製石斧（だせいせきふ）	2
		石皿（いしざら）	1
I	多孔質安山岩 （たこうしつあんざんがん）	原石（げんせき）	2
		石皿（いしざら）	1
K	石英斑岩（せきえいはんがん）	原石（げんせき）	2
		磨石（すりいし）	2
K	安山岩（あんざんがん）	原石（げんせき）	1
		磨石（すりいし）	2
I	板状安山岩 （いたじょうあんざんがん）	原石（げんせき）	3
		打製石斧（だせいせきふ）	2

IV. 縄文時代の塩づくりと貝の花のムラ

No.	資料名	時期	点数	備考
1	製塩土器	縄文時代晩期	1	
2	製塩土器（資料番号1）と共に出土した同時代の土器	縄文時代晩期	1	
3	製塩土器（資料番号1）と共に出土した同時代の土器	縄文時代晩期	1	
4	近くのムラの製塩土器	縄文時代晩期	1	上本郷遺跡第3地点出土資料

V. 教科書に載った「貝の花」

No.	資料名	点数	備考
1	詳説日本史（新版）（しょうせつにほんし（しんばん））	1	1983～1985年度使用 千葉県個人蔵
2	詳説日本史（再訂版）（しょうせつにほんし（さいていばん））	1	1991～1995年度使用 千葉県個人蔵
3	詳説日本史（しょうせつにほんし）	1	1994～1998年度使用 東京学芸大学附属図書館蔵
4	詳説日本史（しょうせつにほんし）	1	2003～2007年度使用 千葉県個人蔵

(4) 館蔵資料展「小金城と根木内城」

◆展示意図

市民憩いの公園となっている二つの城跡と市域の戦国時代を、出土文化財と戦国時代の古文書で描いた。両城での日常的な生活痕跡を示す資料を、同時代の絵画と併せて多数展示する手法で観客の理解を助け、難解な古文書はイラストや図で相互の関係性を示すなど平易化をはかった。

- ◆主催 松戸市立博物館（企画担当 中山文人〈当館学芸員〉）
- ◆後援 （公財）松戸市文化振興財団
- ◆協力 新京成電鉄株式会社 流鉄株式会社 北総鉄道株式会社
- ◆会期 令和2年1月11日（土）～3月1日（日）[42日間]
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月22（日）までの会期を短縮した。
- ◆会場 松戸市立博物館企画展示室
- ◆観覧者数 2,813人
- ◆観覧料 無料
- ◆印刷物

ポスター	B2判	210枚
チラシ	A4判	7,000枚
展示資料リスト	A4判	3,000部（館内で印刷）
古文書の現代語訳集	A4判	1,500枚（館内で印刷）



◆関連行事

- ・学芸員による展示解説会

対象者 一般

開催月日 令和2年1月19日（日）、2月1日（土）、3月22日（日）

※3月22日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

講師 中山文人（当館学芸員）

参加人数 延べ227人

- ・小金城・根木内城見学ツアー

対象者 一般

開催月日 令和2年3月15日（日）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

講師 中山文人（当館学芸員）

◆展示資料

No.	名称	備考（出土地・年代他）
1	カワラケ	小金城跡・根木内城跡
2	すりばち 搦鉢（瀬戸・美濃系と在地産）	根木内城跡
3	いしうす 石臼片	小金城跡・根木内城跡
4	はがま 羽釜片（東海）	根木内城跡
5	ないじなべ 内耳鍋（在地産）	小金城跡・根木内城跡

No.	名称	備考（出土地・年代他）
6	おおがめ 大甕片（常滑）	根木内城跡
7	そめつけわん 染付碗片（中国）	小金城跡
8	そめつけざら 染付皿片（中国）	小金城跡
9	はくじざら 白磁皿片（中国）	小金城跡・根木内城跡
10	白磁碗片（中国）	小金城跡・根木内城跡
11	せいじつぽ 青磁壺片（中国）	小金城跡
12	せいじはざりわん 青磁端反碗片（中国）	根木内城跡
13	せいじりょうかざら 青磁綾花皿片（中国）	根木内城跡
14	しよくだい 青磁燭台片（中国）	根木内城跡
15	てつゆうこ 鉄釉壺片（志戸呂／茶壺）	根木内城跡
16	りちょうべい 李朝瓶片（李氏朝鮮）	小金城跡
17	かいゆうはざりざら 灰釉端反皿（瀬戸美濃系）	根木内城跡
18	灰釉丸皿（瀬戸美濃系）	根木内城跡
19	はさ 挟み皿片（瀬戸美濃系）	小金城跡・根木内城跡
20	えんゆう 縁釉小皿片（瀬戸美濃系）	小金城跡・根木内城跡
21	しつ き 漆器	根木内城跡
22	せいじばん おおざら 青磁盤・大皿片（中国）	小金城跡
23	てんもくちやわん 天目茶碗片（瀬戸美濃系）	小金城跡・根木内城跡
24	りんぼうぼくしよ カワラケ〔輪宝墨書〕	小金城跡
25	はぐち 羽口片	小金城跡
26	てつさい 鉄滓	小金城跡
27	釘	根木内城跡
28	銭	小金城跡・根木内城跡
29	ふんどう 分銅	根木内城跡
30	いたび 板碑片	根木内城跡
31	どうせん カワラケ〔銅銭付着〕	小金城跡
32	弾丸（銅製）	小金城跡
33	てつぎね 鉄札	小金城跡
34	かわぎね 革札	小金城跡
35	革札〔復元〕	小金城跡
36	つば 鐙	小金城跡
-	しゅはんろんえまき 酒飯論絵巻〔部分写真〕	写真パネル／原本：文化庁蔵
-	小金城跡地形模型	
-	根木内城跡地形模型	
-	古戦場・城跡・中世寺院の立地と地形	空中写真パネル／昭和22・23（1947・48）年／ 原版：国土地理院蔵

No.	名称	備考（出土地・年代他）
-	小金城跡	発掘調査状況写真パネル
-	根本内城跡	発掘調査状況写真パネル
-	本土寺過去帳に見る戦い〈抄〉	写真パネル / 原本：本土寺蔵
37	^{ほうじょううじやす} 北条氏康書状（西原文書） ^{にしはらもんじょ}	永禄7 [1564] 年1月4日
38	^{ほうじょうけしゅいんじょう} 北条家朱印状（西原文書）	永禄7 [1564] 年5月10日
39	北条家朱印状（西原文書）	永禄6 [1563] 年4月晦日
40	北条家朱印状（西原文書）	元亀2 [1571] 年4月10日
41	^{あしかがよしうじ} 足利義氏書状（豊前氏古文書） ^{ぶぜんしこもんじょ}	永禄8 [1565] 年3月6日以前 ^カ
42	足利義氏書状（豊前氏古文書）	永禄9 [1566] 年3月28日
43	^{ほうじょううじただはんもつ} 北条氏忠判物（西原文書）	永禄13 [1570] 年5月22日
44	北条氏忠朱印状（西原文書）	元亀2 [1571] 年 ^カ 9月26日
45	北条家朱印状（西原文書）	永禄8 [1565] 年 ^カ 2月2日
46	北条家朱印状（西原文書）	永禄8 [1565] 年 ^カ 2月10日
47	^{いまがわうじざね} 今川氏真書状（西原文書）	永禄11 [1568] 年12月16日
48	^{ちばたねとみ} 千葉胤富書状（豊前氏古文書）	永禄12 [1569] 年2月29日
49	^{かんじょう} 今川氏真感状（西原文書）	永禄12 [1569] 年4月20日

お断り

江戸時代以降、寺院に常備されるようになった過去帳ですが、現在は、いわれなき差別を助長する可能性を持つ記録として、公開されなくなっています。

一方で、戦国時代に成立した本土寺過去帳がこれまで何度も活字史料集が出版され、全文の写真さえ広く公開されているのは、日本中世史研究上必須の記録という学術的要請のみならず、現代における差別に結びつく情報が含まれていないからでもあります。

1993年の開館以来、当館常設展示室で本土寺過去帳の複製や写真を展示し、今回も地域の戦争を紹介する写真パネル「本土寺過去帳に見える戦い〈抄〉」として活用したのは、上記の認識にもとづきます。今後ともご所蔵の本土寺様のご理解とご協力のもと、人権の観点に留意しつつ、活用をはかってまいります。

(5) 令和元年度出土遺物公開事業「eco 生活事始め—考古資料から見た上手な資源の使い方—」

◆展示意図

千葉県教育振興財団が実施した埋蔵文化財発掘調査で出土した旧石器時代から近世までの考古資料などから、資源を上手に使った当時の生活の様子や人々の知恵や工夫を紹介することを目指した。いにしえから豊かな自然に恵まれた千葉の地で暮らした人々が、その環境や資源をどのように活かして生活していたのかについて、展示を通して探った。

- ◆主催 (公財) 千葉県教育振興財団
- ◆共催 松戸市立博物館
- ◆後援 千葉県教育委員会・松戸市教育委員会
- ◆会期 令和元年 10 月 5 日(土)～11 月 24 日(日) [44 日間]
- ◆会場 松戸市立博物館企画展示室
- ◆観覧者数 館蔵資料展「縄文貝塚 貝の花遺跡」と同時開催のため計上していない。
- ◆観覧料 無料
- ◆印刷物

展示図録	A4 判	3,000 部
ポスター	B2 判	300 枚
チラシ	A4 判	10,000 枚
チラシ(講演会)	A4 判	1,000 枚
講座要旨	A4 判	200 部(財団で印刷)
講演要旨	A4 判	500 部



◆関連行事

- ・展示説明会
 - 対象者 一般
 - 会場 当館企画展示室
 - 開催月日 令和元年 10 月 20 日(日)、11 月 17 日(日)
 - 各日 13 時 30 分～(所要時間:約 40 分)
 - 参加人数 31 人
- ・講座「eco 生活事始めの世界」
 - 対象者 一般
 - 会場 当館講堂
 - 開催月日 令和元年 11 月 4 日(月・祝)
 - 講師 上守秀明氏((公財)千葉県教育振興財団)
 - 参加人数 40 人

◆展示資料

第Ⅰ部 道具の再加工・補修

No.	資料名	遺跡名	時代	点数	所蔵・保管
1	ナイフ形石器	印西市荒野前遺跡	旧石器	1	千葉県教育委員会
2	有樋石刃(接合資料)	印西市荒野前遺跡	旧石器	1	千葉県教育委員会
3	削器	印西市荒野前遺跡	旧石器	1	千葉県教育委員会
4・5	有樋石刃(接合資料)	印西市荒野前遺跡	旧石器	2	千葉県教育委員会

No.	資料名	遺跡名	時代	点数	所蔵・保管
6	ナイフ形石器	印西市荒野前遺跡	旧石器	1	千葉県教育委員会
7～9	削器	印西市荒野前遺跡	旧石器	3	千葉県教育委員会
10・11	有樋石刃	印西市荒野前遺跡	旧石器	2	千葉県教育委員会
12	微細剥離痕のある剥片	印西市荒野前遺跡	旧石器	1	千葉県教育委員会
13～20	ナイフ形石器	柏市小山台遺跡	旧石器	8	千葉県教育委員会
21・22	有樋石刃	柏市小山台遺跡	旧石器	2	千葉県教育委員会
23・24	削片	柏市小山台遺跡	旧石器	2	千葉県教育委員会
25～30	石刃	柏市小山台遺跡	旧石器	6	千葉県教育委員会
31	敲石	柏市小山台遺跡	旧石器	1	千葉県教育委員会
32	搔器	成田市東峰御幸畑西遺跡	旧石器	1	千葉県教育委員会
33～36	楔形石器	成田市東峰御幸畑西遺跡	旧石器	4	千葉県教育委員会
37	削片	成田市東峰御幸畑西遺跡	旧石器	1	千葉県教育委員会
38～43	楔形石器	成田市東峰御幸畑西遺跡	旧石器	6	千葉県教育委員会
44～50	削片	成田市東峰御幸畑西遺跡	旧石器	7	千葉県教育委員会
51	東内野型尖頭器	印西市角田台遺跡	旧石器	1	千葉県教育委員会
52・53	上ゲ屋型彫刻刀形石器	柏市小山台遺跡	旧石器	2	千葉県教育委員会
54～67	東内野型尖頭器	四街道市木戸先遺跡	旧石器	14	四街道市教育委員会
68～88	東内野型尖頭器	佐倉市太田・大篠塚遺跡	旧石器	21	佐倉市教育委員会
89～97	削片	佐倉市太田・大篠塚遺跡	旧石器	9	佐倉市教育委員会
98	局部磨製石斧	柏市小山台遺跡	旧石器	1	千葉県教育委員会
99	局部磨製石斧	成田市天神峰最上遺跡	旧石器	1	千葉県教育委員会
100	ナイフ形石器	白井市復山谷遺跡	旧石器	1	千葉県教育委員会
101～103	搔器	千葉市鷲谷津遺跡	旧石器	3	千葉県教育委員会
104～114	尖頭器	千葉市六通神社南遺跡	旧石器	11	千葉県教育委員会
115～122	本ノ木型尖頭器	柏市元割遺跡	旧石器	8	千葉県教育委員会
123～162	本ノ木型尖頭器	四街道市木戸先遺跡	旧石器	40	四街道市教育委員会
163	削器	四街道市木戸先遺跡	旧石器	1	四街道市教育委員会
164～169	野岳・休場型細石刃核	柏市小山台遺跡	旧石器	6	千葉県教育委員会
170～185	野岳・休場型細石刃	柏市小山台遺跡	旧石器	16	千葉県教育委員会
186・187	北方系細石刃核	四街道市木戸先遺跡	旧石器	2	四街道市教育委員会
188	北方系細石刃	四街道市木戸先遺跡	旧石器	1	四街道市教育委員会
189・190	荒屋型彫刻刀形石器	四街道市木戸先遺跡	旧石器	2	四街道市教育委員会
191・192	打面再生剥片	多古町一ツ塚遺跡	旧石器	2	(公財) 千葉県教育振興財団
193～195	細石刃核	多古町一ツ塚遺跡	旧石器	3	(公財) 千葉県教育振興財団
196～198	搔器	多古町一ツ塚遺跡	旧石器	3	(公財) 千葉県教育振興財団
199～213	細石刃	多古町一ツ塚遺跡	旧石器	15	(公財) 千葉県教育振興財団
214	砥石	多古町一ツ塚遺跡	旧石器	1	(公財) 千葉県教育振興財団
215	隆起線文土器	東金市大谷台遺跡	縄文	1	千葉県教育委員会
216	夏島式土器	芝山町香山新田田中横堀遺跡	縄文	1	芝山町教育委員会
217・218	井草式土器	芝山町香山新田田中横堀遺跡	縄文	2	芝山町教育委員会
219	関山式土器	柏市駒形遺跡	縄文	1	芝山町教育委員会
220	加曽利E式土器	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	1	千葉県教育委員会
221	称名寺式土器	市川市道免き谷津遺跡	縄文	1	千葉県教育委員会
222・223	加曽利B式土器	市川市道免き谷津遺跡	縄文	2	千葉県教育委員会
224	弥生土器(後期)	千葉市城の腰遺跡	弥生	1	千葉県立房総のむら
225	宮ノ台式土器	千葉市城の腰遺跡	弥生	1	千葉県立房総のむら
226	内耳土器	柏市小山台遺跡	中世	1	(公財) 千葉県教育振興財団
227	染付皿	柏市花前Ⅱ遺跡	近世	1	千葉県教育委員会

第Ⅱ部 道具の転用

No.	資料名	遺跡名	時代	点数	所蔵・保管
1～5	石斧の調整剥片	柏市大割遺跡	旧石器	5	千葉県教育委員会
6	有撮石器	柏市小山台遺跡	縄文	1	(公財)千葉県教育振興財団
7	尖頭器	柏市小山台遺跡	縄文	1	(公財)千葉県教育振興財団
8	有舌尖頭器	柏市小山台遺跡	縄文	1	(公財)千葉県教育振興財団
9・10	石鏃未成品	柏市小山台遺跡	縄文	2	(公財)千葉県教育振興財団
11～16	石鏃	柏市小山台遺跡	縄文	6	(公財)千葉県教育振興財団
17～19	石鏃未成品	柏市小山台遺跡	縄文	3	(公財)千葉県教育振興財団
20	石匙	柏市小山台遺跡	縄文	1	(公財)千葉県教育振興財団
21～23	二次加工のある剥片	柏市小山台遺跡	縄文	3	(公財)千葉県教育振興財団
24～29	磨石類	千葉市有吉南貝塚	縄文	6	千葉県教育委員会
30～32	垂飾	市原市草刈遺跡	縄文	3	千葉県教育委員会
33	块状耳飾	千葉市バクチ穴遺跡	縄文	1	千葉県教育委員会
34・35	垂飾	千葉市バクチ穴遺跡	縄文	2	千葉県教育委員会
36	块状耳飾(土製)	四街道市小屋ノ内遺跡	縄文	1	千葉県教育委員会
37	磨石類	千葉市城の腰遺跡	弥生	1	千葉県立房総のむら
38～45	土器片錘	千葉市御塚台遺跡	縄文	8	千葉県教育委員会
46～54	土器片錘	酒々井町墨古沢南Ⅰ遺跡	縄文	9	酒々井町教育委員会
55～63	土器片錘	市原市草刈遺跡	縄文	9	千葉県教育委員会
64～66	土器片錘	酒々井町墨古沢遺跡	縄文	3	千葉県教育委員会
67	切れ目土錘	酒々井町墨古沢遺跡	縄文	1	千葉県教育委員会
68	切れ目石錘	酒々井町墨古沢遺跡	縄文	1	千葉県教育委員会
69～149	土器片錘	市原市市原条里制遺跡	縄文	81	千葉県教育委員会
150～155	土器片有孔円板	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	6	千葉県教育委員会
156・157	土器片有孔円板未成品	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	2	千葉県教育委員会
158・159	土器片有孔円板	柏市小山台遺跡	縄文	2	千葉県教育委員会
160・161	土器片有孔円板未成品	柏市小山台遺跡	縄文	2	千葉県教育委員会
162	土器片有孔円板	君津市常代遺跡	弥生	1	千葉県教育委員会
163	土器片有孔円板未成品	君津市常代遺跡	弥生	1	千葉県教育委員会
164	土器片転用紡錘車	東金市久我台遺跡	奈良・平安	1	千葉県教育委員会
165・166	瓦転用紡錘車	市川市北下遺跡	奈良・平安	2	千葉県教育委員会
167	瓦転用紡錘車未成品	市川市北下遺跡	奈良・平安	1	千葉県教育委員会
168・169	土師器甕転用砥石	東金市久我台遺跡	古墳	2	千葉県教育委員会
170	土師器高坏転用砥石	我孫子市日秀西遺跡	古墳	1	千葉県立房総のむら
171・172	土師器坏転用砥石	我孫子市日秀西遺跡	古墳	2	千葉県立房総のむら
173・174	土師器甕転用砥石	我孫子市日秀西遺跡	古墳	2	千葉県立房総のむら
175～180	瓦転用砥石	市川市北下遺跡	奈良・平安	6	千葉県教育委員会
181～183	須恵器甕転用砥石	市川市北下遺跡	奈良・平安	3	千葉県教育委員会
184～191	陶器転用砥石	袖ヶ浦市山谷遺跡	中世	8	袖ヶ浦市郷土博物館
192・193	須恵器転用硯	君津市郡遺跡	奈良・平安	2	千葉県教育委員会
194	須恵器転用硯	市川市北下遺跡	奈良・平安	1	千葉県教育委員会
195	灰釉陶器転用硯	市川市北下遺跡	奈良・平安	1	千葉県教育委員会
196～198	縄文土器片転用漆パレット	香取市多田遺跡	縄文	3	千葉県教育委員会
199	ベンガラ入り小型壺	四街道市御山遺跡	奈良・平安	1	(公財)千葉県教育振興財団
200・201	土師器坏転用漆パレット	印西市西根遺跡	奈良・平安	2	千葉県教育委員会
202～204	土師器坏転用燈明皿	多古町千田の台遺跡	奈良・平安	3	(公財)千葉県教育振興財団
205～210	曲物底板転用田下駄	市原市市原条里制遺跡	奈良・平安	6	千葉県教育委員会
211	曲物底板転用火きり板	市原市市原条里制遺跡	奈良・平安	1	千葉県教育委員会
212	加曽利E式土器	市原市草刈貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会

No.	資料名	遺跡名	時代	点数	所蔵・保管
213	灰釉陶器瓶	市原市武士遺跡	奈良・平安	1	千葉県教育委員会
214	加曽利E式土器	市原市草刈貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
215	磨石類	市原市草刈遺跡	縄文	1	千葉県教育委員会
216	石皿	市原市草刈遺跡	縄文	1	千葉県教育委員会
217～219	壺転用炉器台	袖ヶ浦市下向山遺跡	弥生	3	袖ヶ浦市郷土博物館
220～222	炉器台	袖ヶ浦市下向山遺跡	弥生	3	袖ヶ浦市郷土博物館
223～225	壺転用炉器台	市原市草刈遺跡	弥生	3	千葉県教育委員会
226～228	土師器甕	袖ヶ浦市西寺原遺跡	奈良・平安	3	袖ヶ浦市郷土博物館
229・230	瓦	袖ヶ浦市西寺原遺跡	奈良・平安	2	袖ヶ浦市郷土博物館
231～235	瓦	市原市武士遺跡	奈良・平安	5	千葉県教育委員会
236	瓦	袖ヶ浦市西寺原遺跡	奈良・平安	1	袖ヶ浦市郷土博物館
237	羽口	千葉市太田法師遺跡	奈良・平安	1	千葉県教育委員会
238	茶臼	印西市小林城跡	中世	1	千葉県教育委員会
239	板碑	印西市小林城跡	中世	1	千葉県教育委員会
240	扉板	館山市長須賀条里制遺跡	古墳	1	千葉県教育委員会
241	梯子	印西市西根遺跡	古墳	1	千葉県教育委員会
242	井戸枠・曲物	市川市後通遺跡	奈良・平安	1	千葉県教育委員会
243	金床石	千葉市鎌取遺跡	古墳	1	千葉県教育委員会
244・245	土師器高坏	千葉市鎌取遺跡	古墳	2	千葉県教育委員会
246～249	土師器高坏	四街道市中山遺跡	古墳	4	四街道市教育委員会
250・251	土師器高坏	四街道市小屋ノ内遺跡	古墳	2	千葉県教育委員会
252～276	鉄器片	四街道市小屋ノ内遺跡	古墳	25	千葉県教育委員会

第Ⅲ部 eco 生活事始めの世界

No.	資料名	遺跡名	時代	点数	所蔵・保管
1	接合資料	柏市小山台遺跡	旧石器	1	千葉県教育委員会
2～13	ナイフ形石器	柏市聖人塚遺跡	旧石器	12	千葉県教育委員会
14～17	ナイフ形石器	柏市中山新田Ⅱ遺跡	旧石器	4	千葉県教育委員会
18～26	ナイフ形石器	柏市原山遺跡	旧石器	9	千葉県教育委員会
27	剥片	柏市原山遺跡	旧石器	1	千葉県教育委員会
28	礫（搬入石材）	柏市原山遺跡	旧石器	1	千葉県教育委員会
29～34	ナイフ形石器	柏市原山遺跡	旧石器	6	千葉県教育委員会
35～42	縄文土器	千葉市有吉北貝塚	縄文	8	千葉県教育委員会
43	遺構内貝層接状剥離断面	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
44	標準貝類相	千葉市有吉北貝塚	縄文	1式	千葉市埋蔵文化財調査センター
45	標準貝類相	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	1式	千葉県教育委員会
46	クロダイ属	千葉市有吉北貝塚	縄文	1式	千葉県教育委員会
47	コチ科	千葉市有吉北貝塚	縄文	1式	千葉県教育委員会
48	スズキ属	千葉市有吉北貝塚	縄文	1式	千葉県教育委員会
49	ボラ科	千葉市有吉北貝塚	縄文	1式	千葉県教育委員会
50	トビエイ科	千葉市有吉北貝塚	縄文	1式	千葉県教育委員会
51	サメ類	千葉市有吉北貝塚	縄文	1式	千葉県教育委員会
52・53	ハゼ科	千葉市有吉北貝塚	縄文	1式	千葉県教育委員会
54・55	ニシン科	千葉市有吉北貝塚	縄文	1式	千葉県教育委員会
56	カタクチイワシ	千葉市有吉北貝塚	縄文	1式	千葉県教育委員会
57・58	サヨリ属	千葉市有吉北貝塚	縄文	1式	千葉県教育委員会
59・60	アジ科	千葉市有吉北貝塚	縄文	1式	千葉県教育委員会
61	サバ属	千葉市有吉北貝塚	縄文	1式	千葉県教育委員会
62	カレイ科	千葉市有吉北貝塚	縄文	1式	千葉県教育委員会

No.	資料名	遺跡名	時代	点数	所蔵・保管
63	ウシノシタ類	千葉市有吉北貝塚	縄文	1 式	千葉県教育委員会
64	イノシシ頭蓋骨	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
65	イノシシ下顎骨	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
66	シカ頭蓋骨	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	1	千葉県教育委員会
67	シカ下顎骨	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
68	タヌキ下顎骨	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
69	アナグマ下顎骨	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
70	カワウソ下顎骨	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
71	ノウサギ下顎骨	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
72	ムササビ下顎骨	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
73	テン下顎骨	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
74	イタチ下顎骨	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
75	サル下顎骨	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
76	カモ類上腕骨	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
77	カモ類手根中手骨	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
78	キジ上腕骨	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
79	キジ手根中手骨	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
80	カモメ類手根中手骨	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
81	ツル脛足根骨	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
82～96	石鏃	千葉市有吉北貝塚	縄文	15	千葉県教育委員会
97～103	打製石斧	千葉市有吉北貝塚	縄文	7	千葉県教育委員会
104～107	磨製石斧	千葉市有吉北貝塚	縄文	4	千葉県教育委員会
108～112	磨石類	千葉市有吉北貝塚	縄文	5	千葉県教育委員会
113・114	石皿	千葉市有吉北貝塚	縄文	2	千葉県教育委員会
115～125	二次加工のある石鏃	千葉市有吉北貝塚	縄文	11	千葉県教育委員会
126	補修孔のある縄文土器	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
127～138	土器片錘	千葉市有吉北貝塚	縄文	12	千葉県教育委員会
139～141	磨製石斧転用磨石	千葉市有吉北貝塚	縄文	3	千葉県教育委員会
142～146	縄文土器	千葉市有吉北貝塚	縄文	5	千葉県教育委員会
147	石皿	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
148・149	縄文土器	千葉市有吉北貝塚	縄文	2	千葉県教育委員会
150	鏃形貝製品	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
151	貝刃（ハマグリ）	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
152	貝刃（カガミガイ）	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
153	赤色顔料付着ハマグリ	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
154	磨貝（アリソガイ）	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
155	貝輪（イタボガキ）	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
156・157	腕輪（イノシシ牙）	千葉市有吉北貝塚	縄文	2	千葉県教育委員会
158～161	垂飾（イノシシ牙）	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	4	千葉県教育委員会
162・163	垂飾（イノシシ牙）	千葉市有吉北貝塚	縄文	2	千葉県教育委員会
164～166	牙斧（イノシシ牙）	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	3	千葉県教育委員会
167～169	牙斧（イノシシ牙）	千葉市有吉北貝塚	縄文	3	千葉県教育委員会
170	ヘラ状製品（イノシシ牙）	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	1	千葉県教育委員会
171～175	針状製品（イノシシ腓骨）	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	5	千葉県教育委員会
176・177	ヘラ状製品（イノシシ腓骨）	千葉市有吉北貝塚	縄文	2	千葉県教育委員会
178・179	ヘラ状製品（イノシシ腓骨）	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	2	千葉県教育委員会
180～183	加工骨（イノシシ腓骨）	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	4	千葉県教育委員会

No.	資料名	遺跡名	時代	点数	所蔵・保管
184～187	刺突具（シカ中手・中足骨）	千葉市有吉北貝塚	縄文	4	千葉県教育委員会
188～192	刺突具（シカ中手・中足骨）	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	5	千葉県教育委員会
193・194	針（シカ中手・中足骨）	千葉市有吉北貝塚	縄文	2	千葉県教育委員会
195・196	へら状製品（シカ中手・中足骨）	千葉市有吉北貝塚	縄文	2	千葉県教育委員会
197～199	へら状製品（シカ中手・中足骨）	市川市雷下遺跡	縄文	3	（公財）千葉県教育振興財団
200～202	加工骨（シカ中手・中足骨）	市川市雷下遺跡	縄文	3	（公財）千葉県教育振興財団
203～206	搔器（シカ下顎骨）	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	4	千葉県教育委員会
207～209	加工骨	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	3	千葉県教育委員会
210	腰飾（シカ角）	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	1	千葉県教育委員会
211	腰飾（シカ角）	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
212	腰飾（シカ角）	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	1	千葉県教育委員会
213	腰飾（シカ角）	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
214・215	垂飾（シカ角）	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	2	千葉県教育委員会
216・217	へら状製品（シカ角）	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	2	千葉県教育委員会
218	釣針（シカ角）	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
219	釣針（シカ角）	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	1	千葉県教育委員会
220～222	被熱痕のある骨	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	3	千葉県教育委員会
223・224	獣骨片	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	2	千葉県教育委員会
225・226	咬痕のある骨	東金市・大網白里市養安寺遺跡	縄文	2	千葉県教育委員会
227	イヌ頭蓋骨	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会
228	イヌ下顎骨	千葉市有吉北貝塚	縄文	1	千葉県教育委員会

3 学習支援

(1) 講演会

■館長講演会

演 題 「古代の住宅事情」
対 象 者 一般
開催月日 令和元年 9 月 29 日（日）
内 容 竪穴住居跡、家形埴輪、銅鐸絵画などを手がかりに、古代の建物の構造について講演した。
講 師 望月幹夫（当館館長）
会 場 当館講堂
参加人数 46 人

■歴史を語る

第 1 回 演 題 「出産と子育ての民俗」

対 象 者 一般
開催月日 令和元年 8 月 25 日（日）
内 容 かつてのくらしの中で伝えられた、出産と子育ての習わしの意味について講演した。
講 師 板橋春夫氏（日本工業大学教授）
会 場 当館講堂
参加人数 31 人

第 2 回 演 題 「房総半島からみた江戸時代の松戸市域」

対 象 者 一般
開催月日 令和元年 12 月 14 日（土） ※当初予定令和元年 10 月 12 日（土）を、台風のため繰り延べした。
内 容 「小金牧」「御鹿狩」「一月寺」の当市に深く関わる 3 つの歴史について、未知の文献史料や図面を駆使して講演した。
講 師 土屋雅人氏（千葉市立郷土博物館）
会 場 当館講堂
参加人数 47 人（事前応募 37 人、当日受付 10 人）

第 3 回 演 題 「縄文の美を楽しむー海辺の縄文文化ー」

※館蔵資料展「縄文貝塚 貝の花遺跡」講演会②：再掲

対 象 者 一般
開催月日 令和元年 10 月 26 日（土）
内 容 縄文土器に見られる「美」について映像資料を多用して講演した。
講 師 井出浩正氏（東京国立博物館教育講座室長）
会 場 当館講堂
参加人数 53 人（事前応募 41 人、当日受付 12 人）

■出土遺物公開事業関連講演会

演 題 「eco 生活事始めー考古資料からみた上手な資源の使い方ー」

※公益財団法人出土遺物公開事業「eco 生活事始め」関連事業：再掲

対 象 者 一般
 開催月日 令和元年 11 月 4 日（月・休）
 内 容 旧石器時代から江戸時代までの考古学資料に見られる資源の再利用等について映像資料を多用して講演した。
 講 師 上守秀明氏（（公財）千葉県教育振興財団）
 会 場 当館講堂
 参加人数 40 人（当日受付）

■松戸駅前博物館

第 1 回 演 題 「仁徳天皇陵の調査と世界文化遺産への登録」
 対 象 者 一般
 開催月日 令和 2 年 1 月 25 日（土）
 内 容 ①ミニ講演「千葉県の古墳」として県内古墳の概要についてパワーポイントを用いて説明。
 ②令和元年に行われた即位儀礼と古墳祭祀の関係や、仁徳天皇陵の調査成果などから、陵墓の実態や宮内庁の陵墓に対する取り組みについて講演。
 講 師 ①小林孝秀（当館学芸員）
 ②徳田誠志氏（宮内庁書陵部陵墓課）
 会 場 松戸市民劇場ホール
 参加人数 145 人（事前応募 142 人、当日受付 3 人）

第 2 回 演 題 「講演を楽しむ会」 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
 対 象 者 一般
 開催月日 令和 2 年 3 月 14 日
 内 容 ①講演について説明。
 ②日本の伝統的講芸である講演を楽しむ。
 講 師 ①富澤達三（当館学芸員）
 ②神田紫師匠
 会 場 松戸市民劇場ホール
 参加人数 ー

■学芸員講演会（会場：当館講堂、各回定員：80 人・当日先着順）

各学芸員が専門分野について講演した。※令和 2 年 3 月 15 日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

開催月日	タイトル	講師	参加人数(うち友の会会員)
令和元年 10 月 19 日（日）	「新しい貝の花遺跡の姿」 ※資料展「縄文貝塚 貝の花遺跡」講演会①	大森隆志	58 人（21 人）
11 月 17 日（日）	「お江戸の事件と錦絵 3 鯉絵が走る」	富澤達三	32 人（16 人）
12 月 8 日（日）	「古墳時代の渡来人と渡来文化」	小林孝秀	76 人（28 人）
令和 2 年 1 月 26 日（日）	「常盤平団地の生活史 II」	青木俊也	40 人（17 人）
2 月 16 日（日）	「松戸でハワイ」	山田尚彦	26 人（8 人）
3 月 15 日（日）	小金城・根木内城見学ツアー ※館蔵資料展「小金城と根木内城」関連行事	中山文人	ー

(2) 講座

(※当館講座の各回定員：30人)

■古文書を読む（近世入門編）（会場：当館実習室）

対象者 一般

開催月日 令和2年1月11日（土）、1月19日（日）、2月8日（土）、2月22日（土）、3月1日（日）
（全5回） ※3月1日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

内容 当館所蔵の一紙ものの近世古文書を解説し、文書自体の特徴を解説しつつ、基本的なくずし字の解説を行った。その他、文書内に登場する松戸の近世村落生活の概要や幕府の村落支配のしくみ等を解説した。

講師 富澤達三（当館学芸員）

応募人数 45人（抽選）

参加人数 延べ94人（①26人②25人③22人④21人）

■古文書を読む（近世中級編Ⅰ）（会場：当館実習室）

対象者 一般

開催月日 令和元年9月21日（土）～11月16日（土）までの隔週土曜日（全5回）

内容 千駄堀の名主・土屋亮平家文書の御用留を解説した。テキストは「天保十四年 日光御用二付諸事書抜帳」で、16-30頁まで終えた。三回目から「弘化四年 御鹿狩二付 御用留帳」で、17頁まで読み進めた。文書内の語句を説明するため、講師が用意した補助プリントを適宜使用した。

講師 和泉清司氏（高崎経済大学名誉教授）

応募人数 63人（抽選）

参加人数 延べ121人（①28人②21人③25人④24人⑤23人）

■古文書を読む（近世中級編Ⅱ）（会場：当館実習室）

対象者 一般

開催月日 令和2年1月18日（土）～2月29日（土）までの隔週土曜日、3月7日（土）（全5回）
※2月29日、3月7日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

内容 中級編Ⅰの教材中級編Ⅰで12頁途中まで読んだ土屋亮平家文書「弘化四年 御鹿狩二付御用留帳」を継続して12頁から22頁まで読み進めた。

講師 出口宏幸氏（江東区文化財主任調査員）

応募人数 38人（抽選）

参加人数 延べ78人（①27人②25人③26人）

■吾妻鏡を読む（会場：女性センターゆうまつど）

対象者 一般

開催月日 令和元年9月4日（水）～11月13日（水）までの隔週水曜日（全6回）

内容 「吾妻鏡（北条本・国立公文書館蔵）」の写真版を、寿永元（1182）年5月19日から8月18日まで解説・解説した。

講師 中山文人（当館学芸員）

応募人数 25人

参加人数 延べ136人（①23人②24人③22人④24人⑤21人⑥22人）

■松戸市パートナー講座

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

実施年月日	内容	主催者	派遣講師	参加人数
令和2年3月5日(木)	小金地区の歴史 江戸時代編	小金地区福祉協議会	富澤達三	—

■その他講師派遣等

実施年月日	内容	主催者	派遣講師	場所	参加人数
平成31年 4月7日(日)	「終末期古墳と石室」(講座 講師)	川越市立博物館	小林孝秀 (当館学芸員)	川越市立博物館視聴 覚ホール	92人
令和元年 8月1日(木)	地域連携講座・松戸市立博 物館協力講座「ようこそ『こ どもミュージアム—おとな も楽しい歴史体験—』(講 座講師)	聖徳大学オーブ ン・アカデミー	青木俊也 (当館学芸員)	松戸市立博物館	6人
11月9日(土)	シンポジウム「金鈴塚古墳 の主に迫る」講演「石室、 石棺から金鈴塚古墳の主に 迫る」(発表及び討論)	木更津市教育委 員会	小林孝秀 (当館学芸員)	木更津市民会館中 ホール	170人
令和2年 2月22日(土)	「戦後の団地生活を展示す る意味」(講座講師)	武蔵大学学芸 ネットワーク	青木俊也 (当館学芸員)	武蔵大学	30人

(3) 体験学習

■こども体験教室「親も楽しむ 勾玉づくり」

	開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
第1回	令和元年5月5日(日)	10:00～ 11:00	小学生と保護者 (こどもだけの 参加も可)	大森隆志 小林孝秀 (当館学芸員)	小学生 22人	20人 (小学生12人 保護者8人)
第2回		13:30～ 14:30				19人 (小学生9人 保護者10人)
第3回	8月10日(土)	10:00～ 11:00	小学生と保護者 (こどもだけの 参加も可)	小林孝秀 (当館学芸員)	小学生 42人 (抽選)	24人 (小学生12人 保護者12人)
第4回		13:30～ 14:30				27人 (小学生14人 保護者13人)
内容	縄文時代の装身具作りを通じて、当時の生活技術の一端を知ってもらった。					

■こども体験教室「親も楽しむ 土鈴づくり」

	開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
第 1 回	令和元年 8 月 3 日(土)	10：00～ 11：00	小学生と保護者 (こどもだけの 参加も可)	大森隆志 (当館学芸員)	小学生 33 人 (抽選)	22 人 (小学生 11 人 保護者 11 人)
第 2 回		13：30～ 14：30				21 人 (小学生 11 人 保護者 10 人)
内容	粘土で鈴（土鈴）を作り、縄文時代の技術の一部を体験してもらった。					

■こども体験教室 「紙芝居を楽しむ日」(※企画展「こどもミュージアム」関連行事：再掲)

	開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
第 1 回	令和元年 8 月 11 日(日)	13：00 ～ 15：30	こどもから大人まで	峯岸照恭氏 (大江戸ヤッサン 一座代表)	当日 先着順	72 人
第 2 回	8 月 18 日(日)	13：00 ～ 15：30				102 人
内容	紙芝居で昔のこどもたちの世界を再現し、体験してもらった。					

■体験教室 「自分でつくる糸と布」〔全2回〕(友の会共催)

	開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
第 1 日	令和 2 年 2 月 5 日 (水)	9:30 ～ 12:30 ／ 13:30 ～ 16:30	一般	青木俊也 (当館学芸員) はたくさの会 (博物館友の会 サークル)	39 人 (抽選)	8 人
第 2 日	2 月 7 日 (金)	9:30 ～ 15:00 の間の各 50 分				8 人
内容	糸車を使って綿から糸を紡ぎ、高機で織った。					

■体験教室「裂き織りをしてみませんか」(友の会共催)

	開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
第 1 日	令和 2 年 1 月 21 日 (火)	各日 ① 9:30～ ② 10:30～ ③ 11:30～ ④ 13:30～ 各 40 分	一般	青木俊也 (当館学芸員) はたくさの会 (博物館友の会 サークル)	24 人	7 人
第 2 日	1 月 22 日 (水)					7 人
第 3 日	1 月 23 日 (木)					8 人
内容	擦り切れたりして使えなくなった布を裂いて新しい布に再生する先人の知恵を体験した。					

(4) ミュージアムシアター・プレイルーム

■ミュージアムシアター

公共上映の権利を有する映像ソフトを、講堂において毎日・月替わりで定時上映した。ただし講演会等の開催時には、上映を中止した。

上映時間 午前11時・午後1時15分・午後3時15分

※午前11時上映分は「午前11時の名画座」として、過去に上映したものの中から好評だったものを上映した。
(平成28年度から毎日上映)

※土日祝日の午後1時15分上映分は「キッズシアター」として、子ども向けプログラムを上映した。

※令和元年6月18日～6月23日は燻蒸に伴う休館、7月28日(日)～8月10日(土)は機器の故障、
令和2年2月26日以降は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため上映を中止した。

ミュージアムシアター

上映月	映像タイトル	上映日数	観覧者数	1 日平均
平成 31 年 4 月	朝日ニュース映画で見る昭和（昭和 53 年）	26	105	4
令和元年 5 月	朝日ニュース映画で見る昭和（昭和 52 年）	27	104	3
6 月	朝日ニュース映画で見る昭和（昭和 51 年）	19	81	4
7 月	ポンせんべい〈昭和 25 年〉～昭和こどもキネマ 第 6 巻	23	48	2
8 月	ヒロシマの記憶～幻の原爆フィルムで歩く広島～	18	70	4
9 月	〈森浩一が語る日本の古代 第 4 巻〉弥生時代西の文化	24	87	3
10 月	〈人類 いかにして人は五大陸へ渡ったのか 第 2 巻〉アジアへの広がり	26	125	4
11 月	〈極める・日本の美と心 奈良の名刹 1〉東大寺	26	142	5
12 月	京生麩～グルテンを生かした小麦蛋白食品～〈日本の味・伝統食品／日本人は何を食べてきたか？ 第 4 集〉	22	57	2
令和 2 年 1 月	伊奈忠次～関東の水を治めて泰平の世を築く	22	112	5
2 月	司馬遼太郎と城を歩く第 7 巻～清州城・浜松城・丸岡城・佐賀城～	21	144	6
3 月	塹壕から見た人類初の大戦～奇跡の映像 よみがえる 100 年前の世界 4	—	—	—
合計		254	1075	4

午前 11 時の名画座

上映月	映像タイトル	上映日数	観覧者数	1 日平均
平成 31 年 4 月	遙かなるコンブロードー北海道から沖縄へコンブの辿った道ー〈「日本の味のルーツを探る」シリーズ 第 2 巻〉	26	71	2
令和元年 5 月	〈現代日本の形成過程 4〉ロンドン軍縮会議ー国際協調の狭い稜線ー	27	73	2
6 月	今どきの嫁〈映画でみる昭和 30 年代の日本・家族の幸福 夫婦編 1〉	19	65	3
7 月	大自然の贈り物・五大湖ーナショナルジオグラフィックビデオー	23	64	2
8 月	敵を知らず己を知らずーガダルカナルー〈NHK スペシャルドキュメント太平洋戦争 第 2 集〉	18	75	4
9 月	〈珠玉の仏教美術 3〉密教と曼荼羅世界ー平安時代 1ー	24	85	3
10 月	〈司馬遼太郎と城を歩く第 6 巻〉～仙台城・長浜城・郡山城・中津城～	26	119	4
11 月	ベスビオー噴火の爪痕ー ナショナルジオグラフィックビデオ	26	121	4
12 月	大いなる自然の力 華麗なる宝石 ナショナルジオグラフィックビデオ	22	55	2

上映月	映像タイトル	上映日数	観覧者数	1 日平均
令和 2 年 1 月	〈日本の近代化文化遺産 9〉 維新政府・北国への挑戦 —	22	81	3
2 月	〈珠玉の仏教美術 4〉 華麗なる王朝の美—平安時代 2 —	21	70	3
3 月	司馬遼太郎と城を歩く 第 5 巻～岡崎城・岐阜城・島 原城・松前城～	—	—	—
合計		254	879	3

土日祝日のキッズシアター

上映月	映像タイトル	上映日数	観覧者数	1 日平均
平成 31 年 4 月	アニメ「ふるさと再生 日本の昔ばなし」より わら しべ長者／天の羽衣／厩の神様	10	57	5
令和元年 5 月	アニメ「ふるさと再生 日本の昔ばなし」より 仁王 とどっこい／鷲のさらい子／こんにやく問答	12	94	7
6 月	アニメ「ふるさと再生 日本の昔ばなし」より 絵姿 女房／おいてけ堀／金をひろったら	8	62	7
7 月	アニメ「ふるさと再生 日本の昔ばなし」より 大江 山の鬼退治／小僧とネコの絵／貧乏神	8	38	4
8 月	アニメ「ふるさと再生 日本の昔ばなし」より 馬方 山姥／えびのお伊勢参り／なんの病	6	37	6
9 月	アニメ「ふるさと再生 日本の昔ばなし」より 山梨 取り／一軒家の婆さん／ムカデの医者むかえ	10	39	4
10 月	アニメ「ふるさと再生 日本の昔ばなし」より 鶴の 恩返し／宝ひょうたん／若返りの水	6	35	5
11 月	アニメ「ふるさと再生 日本の昔ばなし」より 猫女 房／ごんぞう虫／鼻高扇	8	47	5
12 月	アニメ「ふるさと再生 日本の昔ばなし」より たわ らの藤太／狐のお産／取っつく引っつく	5	24	4
令和 2 年 1 月	アニメ「ふるさと再生 日本の昔ばなし」より ぶん ぶく茶釜／三年寝太郎／鼻たれ小僧	7	44	6
2 月	アニメ「ふるさと再生 日本の昔ばなし」より 最後 の嘘／うれし、めでたや、ありがたや／食わず女房	9	42	4
3 月	アニメ「ふるさと再生 日本の昔ばなし」より 和尚 と小僧のかみがない／ふるやのもり／旅人馬	—	—	—
合計		89	519	6

■ プレイルーム

年齢を問わず、いつでも来館者が楽しめる場所として無料で開放している。体験プログラムとして、①やってみようアンギン編み、②つくってみようコースター、③着てみようアンギン編みの服、④つかってみよう糸車の 4 種類を実施した。また、「常設展示ぬりえ！」を設け、こどもからおとなまで、誰でもぬりえを楽しんでもらえるようにしている。

令和元年度利用者総数 11,999 人

(5) 館内公開

対 象 者 一般

開催月日 ①平成 31 年 4 月 28 日

②令和元年 8 月 12 日

内 容 博物館の多様な活動への理解を促進するため、通常非公開のバックヤード（車庫、荷解梱包室、燻蒸室、学芸員室、スタジオ、機械室、収蔵庫）を紹介・解説した。

講 師 ①中山文人（当館学芸員）②小林孝秀（当館学芸員）

応募人数 ①事前応募 6 人、当日申込 4 人

②事前応募 25 人、当日申込 0 人 ※抽選

参加人数 延べ 27 人（① 10 人② 17 人）

(6) ガイドツアー（常設展示解説）

令和元年度は 208 回行い 960 人が参加した。

「人類の登場」から「都市へのあゆみ」まで 2 名の展示解説員によるリレー方式の解説会を毎日午前 10 時と午後 2 時から行った（解説時間約 30 分間）。なお、団体観覧者においては適宜開催した。

(7) 情報提供

■閲覧コーナー

当館の購入図書及び関係諸機関との交換図書の閲覧サービスを行なっている。蔵書の一部は開架で提供している。

・蔵書数（令和 2 年 3 月 31 日現在）

開架図書冊数 1,253 冊

閉架図書冊数 40,508 冊

・閉架図書の利用状況（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

利用人数 65 人

利用冊数 155 冊

・視聴覚資料数（令和 2 年 3 月 31 日現在）

ビデオテープ 418 巻

CD 88 枚

DVD 45 枚

■刊行物

令和元年度の刊行物は次の通りである。

・松戸市立博物館年報 第 26 号

A4 判 78 頁（本文 75 頁） 500 部 令和元年 8 月 23 日

・松戸市立博物館紀要 第 27 号

A4 判 64 頁（本文 53 頁） 800 部 令和 2 年 3 月 31 日

■ミュージアムショップ

刊行物とミュージアムグッズを販売している。

ミュージアムグッズ		
ジグソーパズル	5種類	各 900 円
	1種類	1,200 円
絵はがき	8種類	各 80 円
テレホンカード	4種類	各 700 円
埴輪ぬいぐるみキーホルダー (馬・人)	2種類	各 350 円
土鈴セット		200 円
メモ帳		100 円
虚無僧ストラップ (青・赤・緑)	3種類	各 750 円
虚無僧錦絵・絵はがきセット		350 円
クリアホルダー	3枚セット	100 円
一筆箋(シルクロード・朱印状)	2種類	各 300 円
縄文土器レプリカ	3種類	9,000 ～ 10,000 円
クリアホルダー (コシッキー1体・3体)	2種類	各 150 円
ドンちゃんグリちゃん・じょ うちゃんもんちゃんシール		200 円
小風呂敷 (下総国小金乃原御 狩之図)		680 円

紀要		
松戸市立博物館紀要	第 1 号	1,000 円
松戸市立博物館紀要	第 2 号	1,000 円
松戸市立博物館紀要	第 3 号	1,000 円
松戸市立博物館紀要	第 4 号	700 円
松戸市立博物館紀要	第 5 号	1,000 円
松戸市立博物館紀要	第 6 号	1,000 円
松戸市立博物館紀要	第 7 号	1,000 円
松戸市立博物館紀要	第 8 号	1,000 円
松戸市立博物館紀要	第 9 号	1,000 円
松戸市立博物館紀要	第 10 号	1,000 円
松戸市立博物館紀要	第 11 号	500 円
松戸市立博物館紀要	第 12 号	500 円
松戸市立博物館紀要	第 13 号	400 円
松戸市立博物館紀要	第 14 号	500 円
松戸市立博物館紀要	第 15 号	500 円
松戸市立博物館紀要	第 16 号	600 円
松戸市立博物館紀要	第 17 号	500 円
松戸市立博物館紀要	第 18 号	500 円
松戸市立博物館紀要	第 19 号	400 円
松戸市立博物館紀要	第 20 号	500 円
松戸市立博物館紀要	第 21 号	600 円
松戸市立博物館紀要	第 22 号	500 円
松戸市立博物館紀要	第 23 号	400 円
松戸市立博物館紀要	第 24 号	300 円
松戸市立博物館紀要	第 25 号	400 円
松戸市立博物館紀要	第 26 号	400 円

図録		
改訂版	常設展示図録 (平成 16 年度)	1,500 円
開設記念展	松戸写真館ーカメラがとらえた 松戸の人々ー (平成 5 年度)	完売
特別展	縄文土器の世界 (平成 5 年度)	1,000 円
企画展	救いの民俗ー地獄極楽冥土の旅ー (平成 6 年度)	完売
特別展	馬と牧ーかつて松戸は牧場だったー (平成 6 年度)	完売
企画展	稲と魚ー水田をめぐる漁・猟・採集 ー (平成 7 年度)	900 円
特別展	古墳時代の飾り馬ー馬利用のはじま りをさぐるー (平成 7 年度)	完売
企画展	小金城主高城氏 (平成 8 年度 (平成 13 年度再版))	1,000 円
特別展	シルクロードとガンダーラ (平成 8 年度)	1,500 円
特別展	福神の世界 (平成 9 年度)	完売
特別展	ネアンデルタール人の復活 (平成 10 年度)	1,000 円
企画展	水戸道中ー宿場と旅人ー (平成 10 年度)	完売
特別展	貝塚を考える (平成 10 年度)	1,200 円
企画展	戦後松戸の生活革新ー新しい暮らし 方へのあこがれー (平成 12 年度)	完売
企画展	中世の東葛飾ーいのり・くらし・ま つりごとー (平成 13 年度)	1,200 円
企画展	弥生人の脳発見！ーとっとり青谷上 寺地遺跡展ー (平成 14 年度)	完売
企画展	はにわの十字路ー古代東国の交流と 地域性ー (平成 14 年度)	1,000 円
特別展	川の道 江戸川 (平成 15 年度)	1,000 円
企画展	昔のくらし探検<松戸版> (平成 16 年度)	500 円
企画展	ペルシャ文明の曙ー文明の基層を探 るー (平成 17 年度)	1,000 円
企画展	戦国の城をさぐるー松戸市根本内歴 史公園開園記念ー (平成 18 年度)	1,000 円
企画展	大名の旅ー本陣と街道ー (平成 19 年度)ー本陣と街道ー (平成 19 年度)	1,000 円
特別展	縄文時代の東・西 (平成 20 年度)	1,000 円
企画展	人生儀礼の世界 (平成 21 年度)	1,000 円
企画展	湯浅喜代治 考古コレクションー夢 を追った 70 年ー (平成 22 年度)	1,000 円
企画展	東日本の古墳と渡来文化ー海を越え る人とモノー (平成 24 年度)	1,000 円
特別展	松戸の発掘 60 年史ー市内の遺跡を 再検討ー (平成 25 年度)	1,000 円
企画展	Plastic ? /Plastic ?ー高度経済成長 とプラスチックー (平成 26 年度)	1,000 円
企画展	石斧と人ー3 万年のあゆみー (平成 28 年度)	800 円
企画展	本土寺と戦国の社会 (平成 29 年度)	900 円
特別展	ガンダーラー仏教文化の姿と形ー (平成 30 年度)	1,000 円

資料集・報告書	
松戸市立博物館歴史資料集 1 東漸寺所蔵資料目録	700 円
松戸市立博物館歴史資料集 2 青木源内家所蔵資料目録追加	700 円
松戸市立博物館映像記録 VTR 送り大師 東葛飾印旛大師講の人々	完売
松戸市立博物館報告書 1 松戸の三匹獅子舞 (VTR 含む)	5,400 円
松戸市立博物館報告書 2 縄文時代以降の松戸の海と森の復元	1,200 円
松戸市立博物館報告書 3 松戸市民家調査報告書	完売
松戸市立博物館報告書 4 松戸旧宿場町建築物調査報告書	2,100 円
松戸市立博物館報告書 5 農村松戸の民俗 ―1960 年代調査の記録―	800 円
松戸市立博物館報告書 6 松戸市役所広報課旧蔵写真目録	900 円

松戸市史	
松戸市史 上巻	完売
松戸市史 上巻(改訂版)「原始・古代・中世」	3,000 円
松戸市史 中巻「近世」	5,500 円
松戸市史 下巻(一)「明治」	4,000 円
松戸市史 下巻(二)「大正・昭和」	3,900 円
松戸市史史料編(一)「大熊家文書」	2,800 円
松戸市史史料編(二)「近世諸家文書」	完売
松戸市史史料編(三)「萬満寺史料」	3,500 円
松戸市史史料編(四)「本土寺史料」	5,500 円
松戸市史史料編(五)上「秋谷家文書」	8,050 円
松戸市史史料編(五)下「秋谷家文書」	7,500 円
松戸市史史料編(六)「東漸寺史料」	5,000 円
松戸市古文書目録(一)「諸家文書」	1,100 円
松戸市古文書目録(二)「諸家文書」	1,500 円
松戸市古文書目録(三)「本土寺文書他」	2,000 円
松戸市古文書目録(四)「秋谷家文書」	2,500 円
松戸市史考古資料集 1 大谷口遺跡の土師器と須恵器	300 円
松戸市史考古資料集 2 千駄堀寒風台遺跡出土遺物を中心とする 考古資料	300 円
松戸市史考古資料集 3 関場遺跡第 2 地点出土旧石器資料報告・ 寒風台遺跡出土石器再整理報告	300 円
松戸市史考古資料集 4 上本郷遺跡出土の縄文時代後期から晩期 を中心とする考古資料	400 円

4 連携事業

(1) 博学連携プログラム

①受入

■博物館実習

令和元年度博物館実習生

班	氏名	所属
第1班	木立 有美	実践女子大学 文学部美学美術史学科
	伊藤 一樹	帝京大学 文学部史学科
	朝賀 亮介	首都大学東京 都市教養学部歴史学科
第2班	小池 優士	淑徳大学 人文学部歴史学科
	染谷 遥香	立正大学 文学部史学科
	戸塚 真矩	学習院大学 文学部史学科
	伊藤 樺恵	聖徳大学 文学部文学科
第3班	追川 佳輝	大正大学 文学部歴史学科
	吉田 真惟子	川村学園女子大学 文学部史学科
	濱 秀輝	日本大学 文理学部史学科
	佐藤 佳弘	国土館大学 文学部史学地理学科
	櫻田 七海	跡見学園女子大学 文学部人文学科

(1) 合同実習

月日	午前	午後
7月28日(日)	実習内容説明、館内バックヤード見学	パークセンターイベント見学、展示見学、質疑応答

(2) 個別

第1班 令和元年8月1日(木)～8月7日(水)

月日	午前	午後
8月1日(木)	近世・近代文書資料の整理	同左
8月2日(金)	こども体験教室「土鈴をつくろう」準備	同左
8月3日(土)	こども体験教室「土鈴をつくろう」補助	同左
8月4日(日)	府中市郷土の森博物館見学	調布市立郷土博物館見学
8月6日(火)	展示室における、こども向けメニューの開発	同左
8月7日(水)	前日調査の研究発表	まとめ・レポート執筆など

第2班 令和元年8月8日(木)～8月14日(水)

月日	午前	午後
8月8日(木)	近世・近代文書資料の整理	同左
8月9日(金)	こども体験教室「勾玉をつくろう」準備	同左
8月10日(土)	こども体験教室「勾玉をつくろう」補助	同左
8月11日(日)	府中市郷土の森博物館見学	調布市立郷土博物館見学
8月12日(月)	展示室における、こども向けメニューの開発	同左
8月14日(水)	前々日調査の研究発表	まとめ・レポート執筆など

第3班 令和元年8月15日（木）～8月21日（水）

月日	午前	午後
8月15日（木）	近世・近代文書資料の整理	同左
8月16日（金）	親子ワークシート作成	同左
8月17日（土）	こども体験プログラム開発	同左
8月18日（日）	府中市郷土の森博物館見学	調布市立郷土博物館見学
8月20日（火）	展示室における、こども向けメニューの開発	同左
8月21日（水）	前日調査の研究発表	まとめ・レポート執筆など

■教員・生徒の職場研修・職場体験学習の受け入れ

博物館の活用等を目的とした教員対象の体験研修、児童・生徒の勤労観・社会観を育成するための職場体験学習を行った。

中堅教諭等資質向上研修（体験研修）

氏名	学校名	担当教科等	年月日
伊藤 美歩	常盤平第三小学校	6年担任	令和元年7月25日・26日
桑原 晴之	上本郷小学校	2年担任	同上
高中 友香里	北部小学校	日本語指導	令和元年8月22日・23日
大辻 由子	小金南中学校	技術家庭科	同上
飯田 弘香	河原塚中学校	英語	同上
久富 哲也	大橋小学校	4年担任	令和元年8月27日・28日
小林 篤史	東松戸小学校	3年担任	同上
斎藤 祐介	常盤平中学校	理科	同上

高校生（インターンシップ）

学校名	学年（人数）	年月日
千葉県立松戸高等学校	1年（1人）	令和元年7月23日
千葉県立小金高等学校	1年（1人）	令和元年7月30日
聖徳大学附属女子高等学校	1年（1人）	令和元年8月23日

中学生（職場体験学習）

学校名	学年（人数）	年月日
和名ヶ谷中学校	2年（2人）	令和元年10月3日

小学生（キャリア教育）

学校名	学年（人数）	年月日
小金北小学校	6年（1人）	令和元年7月31日

②派遣

■千葉県教育研究会松戸支会社会科教育部会見学会

場 所 松戸・市川市内の各遺跡・史跡

開催月日 8月7日（水）

講 師 小林孝秀（当館学芸員）・学習支援専門員

参加人数 29人

内 容 松戸・市川市内の遺跡・史跡見学（下総総社跡・法皇塚古墳・下総国分寺等）

■出前授業

市内の小学校・中学校を対象とし、当該校からの要請に応え、博物館学芸員及び学習支援専門員が、通常の授業の中でゲストティーチャーとして指導・支援を行った。

松戸市立根本内小学校

対 象 者 小学3年生 63人
開催日時 令和元年9月19日（木） 13:20～15:00
内 容 「かわってきた人々のくらし～のこしたいもの、つたえたいもの」
講 師 綿貫貴（当館学習支援専門員）

専修大学松戸中学校

対 象 者 中学2年生 157人
開催日時 令和元年11月30日（土） 10:40～11:25
内 容 「松戸の江戸時代一村の生活」を主題に、当時の専修大学松戸中学校周辺の農村における生活について講演した。
講 師 富澤達三（当館学芸員）

③事業

■中学生・高校生縄文土器に挑戦 by drawing

対 象 者 松戸市内中学校美術部員、松戸市内高等学校美術部員
開催月日 令和元年7月24日（水）
内 容 博物館が所蔵する縄文土器をモチーフに絵を描き、制作した作品を博物館に展示する。
講 師 当館学習支援専門員
参加人数 7人

■中学生・高校生縄文土器に挑戦 by drawing 作品展

展示意図 中学生と高校生が縄文土器の観察を通して味わった感動を、自分なりの感性、個性で絵に表現し、その作品を展示した。
会 期 令和元年8月3日（土）～8月25日（日）
会 場 松戸市立博物館企画展示室前ロビー
観 覧 料 無料
作 品 数 7点

■博物館でアート

博物館の環境を活用して、さまざまな造形活動に取り組む。令和元年度は色鉛筆の使い方の基礎講座を開催した。

対 象 者 小学校4～6年生
開催月日 ①令和元年7月27日（土）
②令和元年8月24日（土）
講 師 当館学習支援専門員
参加人数 ①15人 ②4人

■第4回博物館アワード

趣 旨 博学連携の一環として、博物館の機能並びに環境を生かしたコンクールを開催することにより、児童生徒の博物館に対する理解を深めるとともに、博物館の積極的な活用を推進する機会とする。

募集概要 (1) 募集内容並びに募集対象者

①歴史に関する自由研究部門

・小学生中学年の部、小学生高学年の部、中学生の部、高校生の部

②歴史に関するイラスト部門

・小学生中学生の部、小学生高学年の部、中学生の部、高校生の部

(2) 募集期間

・令和元年6月4日(火)～9月13日(金)

(3) 表彰

①自由研究部門各部の最優秀作品の中から市長賞1点、教育長賞1点、博物館長賞2点、さらに11点が優秀賞。その他25点が佳作。

②イラスト部門各部最優秀作品の中から市長賞1点、教育長賞1点、博物館長賞2点、さらに12点が優秀賞。その他18点が佳作。

応募点数

	小学生中学年	小学生高学年	中学生	高校生	合計
自由研究部門	41	109	90	3	243
イラスト部門	13	32	116	7	168

応募校数 ・自由研究部門：29校

・イラスト部門：35校

■第4回博物館アワード作品展

展示意図 第4回博物館アワード(歴史自由研究、歴史イラスト部門)に応募した小中学生、高校生の入賞・入選作品を展示した。

主 催 松戸市立博物館

会 期 令和元年12月10日(火)～22日(日)

会 場 松戸市立博物館企画展示室

観 覧 料 無料

作 品 数 自由研究部門40点

イラスト部門168点



イラスト部門 市長賞
「金剛力士像『阿』」
(八ヶ崎小学校6年)



自由研究部門 市長賞
「常磐平団地を中心とする歴史～松戸市の住宅都市への変貌～」
(聖徳大学附属女子中学校3年)



イラスト部門 教育長賞
「青銅の鐘」
(旭町中学校1年)



イラスト部門 博物館長賞
「浮世から見た現世」
(聖徳大学附属女子高等学校1年)



自由研究部門 教育長賞
「僕の家(六実)の昔々～小金牧について～」
(六実小学校6年)



自由研究部門 博物館長賞
「徳川兄弟と松戸 彼らがみた日本の夜明け 松戸の地」
(聖徳大学附属女子高等学校1年)

■なりきり縄文人

連携対象 松戸市こどもわかもの課森のこども館事業
対 象 者 小学生・保護者
開催月日 令和元年 10 月 6 日（日）
内 容 縄文時代の衣装体験、竪穴住居見学等の後、館蔵資料展「縄文貝塚 貝の花遺跡」を見学し、縄文時代について親しみ学習してもらう
講 師 富澤達三（当館学芸員）・学習支援専門員
参加人数 31 人

(2) その他

■千葉県教育研究会松戸支会社会科教育部会向け展示解説会（ナイトミュージアム）

連携対象 千葉県教育研究会松戸支会社会科教育部会
開催月日 令和元年 11 月 20 日（水）
内 容 館蔵資料展「縄文貝塚貝の花遺跡展」の展示解説を千葉県教育研究会松戸支会社会科教育部会の有志に向けて行った。
参加人数 22 名

■「ゲットユアドリーム」事業への協力

連携対象 松戸市子どもわかもの課「ゲットユアドリーム」事業
開催月日 ①令和元年 12 月 5 日（木） 松戸市立小金中学校
②令和 2 年 1 月 25 日（土） 松戸市立古ヶ崎中学校
内 容 「ゲットユアドリーム」事業で、中学校へ学芸員 2 名を派遣し、博物館学芸員の仕事や経験に関する講義を行った。
講 師 ①小林孝秀 ②富澤達三
参加人数 延べ 42 人（① 27 人、② 15 人）

5 調査・研究

(1) 松戸市古文書調査（委託）

博物館における展示の基礎資料を得るため、平成2年度より古文書調査団を組織し、一時中断をはさみ、平成30年度に第26次調査として再開した。今年度の第27次調査では渡辺尚志氏（一橋大学教授）を団長とし、松戸市秋山の渡辺家文書の調査を実施した。全893件の目録を作成し、データベース化を行った。

(2) 研究員の活動

「松戸市立博物館研究員設置要項」に則り、研究員を委嘱した。

柴田 徹（有限会社 考古石材研究所）

研究テーマ「関場遺跡出土礫の石材鑑定および貝の花遺跡の石器石材鑑定」

成果：関場遺跡出土礫の石材鑑定を行い、その結果を松戸市立博物館紀要第27号に掲載した。更に、貝の花遺跡の石器石材鑑定も行ない、その成果は、館蔵資料展「縄文貝塚 貝の花遺跡」の解説パネルで公表した。

村井 良子（武蔵野美術大学客員教授）

研究テーマ「松戸市立博物館におけるリニューアルの基本構想、ならびに（仮）『こども歴史体験ゾーン』展示計画について」

成果：松戸市立博物館におけるリニューアルの基本構想に対する検討において、その基盤となる博物館の使命・基本目標（案）の意見の取りまとめを行った。また、リニューアルの基本目標（案）の具体的な取り組みとして、（仮）「こども歴史体験ゾーン」展示計画の検討を行った。

(3) 学芸員の活動

中山 文人 専門分野：日本中世史

研究テーマ：「関東中世史の研究」

[年間活動]

- ・令和元年度館蔵資料展「カメラがとらえた松戸の風景－戦後から平成まで－」（平成31年4月23日（火）～令和元年6月9日（日）） ※前任者異動により引き継いで担当
- ・令和元年度館蔵資料展「小金城と根本内城」（令和2年1月11日（土）～3月1日（日））
- ・講座講師「吾妻鏡を読む」（6回、令和元年9月4日～11月13日の隔週水曜）

[外部機関等協力活動]

- ・千葉県博物館協会調査研究委員会委員

[所属学会]

千葉城郭研究会、歴史学研究会、地方史研究協議会

青木 俊也 専門分野：民俗学

研究テーマ：「戦後生活史展示の研究」「葬墓習俗の研究」

[年間活動]

- ・企画展「こどもミュージアム－おとなも楽しい歴史体験－」（令和2年7月20日～9月16日）
- ・体験教室講師「裂き織りをしてみませんか」（15回・令和2年1月21日、22日、23日）
- ・体験教室講師「自分でつくる糸と布」（2回・令和2年2月5日、2月7日）

- ・講演会講師 学芸員講演会④「常盤平団地の生活史Ⅱ」（令和2年1月26日）

[外部機関等協力活動]

- ・立教大学兼任講師 学校・社会教育講座「民俗学」1（平成31年4月1日～令和元年8月31日）
- ・神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科非常勤講師「博物館民俗資料学特論」「博物館歴史資料学特論」（令和元年9月1日～令和2年3月31日）
- ・研究会発表 武蔵大学学芸員課程・武蔵学芸ネットワーク第2回研究会「団地生活を展示する意味」（令和2年2月22日）

[所属学会]

日本民俗学会、群馬歴史民俗研究会

富澤 達三 専門分野：日本近世史・歴史民俗資料学

研究テーマ：「図像資料による江戸後期から明治初期の常民文化・視覚文化の研究」「動物から探る松戸の近世」

[年間活動]

- ・講座講師「古文書を読む（近世入門編）」担当（5回・令和2年1月11日（土）・1月19日（日）・2月8日（土）・2月22日（土）。※5回目は新型コロナウイルス蔓延のため中止）
- ・講演会講師 学芸員講演会②「お江戸の事件と錦絵3 鯰絵が走る」令和元年11月17日（日曜日）

[外部機関等協力活動]

- ・神奈川大学非文字資料センター客員研究員（平成30年4月1日～令和2年3月31日）

[執筆]

- ・「Ⅴ 武士が描いた江戸の繁華」『日本近世・生活絵引 琉球人行列と江戸編』神奈川大学非文字資料研究センター、令和2年2月20日

[所属学会]

地方史研究協議会、関東近世史研究会、日本民俗学会、国際浮世絵学会、日本風俗史学会

小林 孝秀 専門分野：日本考古学・東アジア考古学

研究テーマ：「古墳時代東国社会の研究」「古代東アジア交流史の研究」

[年間活動]

- ・企画展「こどもミュージアムーおとも楽しい歴史体験ー」（令和元年7月20日～9月16日）副担当
- ・こども体験教室「親も楽しむ勾玉づくり」講師（4回、令和元年5月5日、8月10日）
- ・講演会講師 学芸員講演会③「古墳時代の渡来人と渡来文化」（令和元年12月8日）
- ・講演会講師（ミニ講演）「千葉県古墳の古墳」松戸駅前博物館I「仁徳天皇陵の調査と世界文化遺産への登録」（主催：松戸市立博物館、会場：松戸市民劇場ホール、令和2年1月25日）

[外部機関等協力活動]

- ・駒澤大学文学部非常勤講師「歴史学（日本考古学）」（平成31年4月1日～令和2年3月31日）
- ・専修大学文学部非常勤講師「日本史a（前期）・日本史b（後期）」（平成31年4月1日～令和2年3月31日）
- ・講座講師「終末期古墳と石室」川越市歴史博物館企画展「山王塚古墳ー上円下方墳の謎に迫るー」関連事業・歴史講座（全3回のうち第2回講師を担当、会場：川越市立博物館、平成31年4月7日）
- ・発表及び討論「石室、石棺から金鈴塚古墳の主に迫る」金鈴塚古墳出土品国宝化推進事業公開シンポジウム「金鈴塚古墳の主に迫る」（主催：木更津市教育委員会、会場：木更津市民会館中ホール、令和元年11月9日）

[執筆]

- ・（共著・多久那研究会）「権現山古墳の須恵器」『茨城県考古学協会誌』第31号 茨城県考古学協会（「3

採集した須恵器のもつ意味」を執筆、令和元年5月31日)

- ・(共著)『일본내 가야』 논저목록편, 자료편 I・II 국립가야문화재연구소(茨城県・千葉県を担当・執筆、2020年)
- ・「第4章第1節 墳丘と内部構造」『金鈴塚古墳出土品再整理報告書ー本文編ー』木更津市郷土博物館金のすず(令和2年3月27日)
- ・「第1章 石室・棺構造から見た金鈴塚古墳の評価」『金鈴塚古墳出土品再整理報告書ー考察編ー』木更津市郷土博物館金のすず(令和2年3月27日)
- ・「終末期古墳と石室」『川越市立博物館紀要』第2号 川越市立博物館(令和2年3月31日)
- ・(共著)「松戸市河原塚1号墳出土遺物の再検討ー須恵器・鉄釘・鉄鏃ー」『松戸市立博物館紀要』第27号 松戸市立博物館(令和2年3月31日)

[所属学会]

日本考古学協会、日本考古学会、考古学研究会、東北・関東前方後円墳研究会、中四国前方後円墳研究会、茨城県考古学協会、埴輪研究会、専修大学歴史学会、多久那研究会、韓国考古学会、嶺南考古学会

大森 隆志

専門分野：考古学

研究テーマ：「中世地下式坑の考古学的研究」

[年間活動]

- ・館蔵資料展「縄文貝塚 貝の花遺跡」(令和元年10月5日～11月24日)担当
- ・こども体験教室「親も楽しむ土鈴づくり」講師(2回 令和元年8月3日)
- ・講演会講師 学芸員講演会①「新しい貝の花遺跡の姿」(令和元年10月19日)

[執筆]

- ・共著「関場遺跡第2地点の礫群構成礫とその起源について」『松戸市立博物館紀要』第27号(令和2年3月31日)

[所属学会]

日本考古学協会、日本考古学会、縄文時代文化研究会、山梨県考古学協会、文化経済学会〈日本〉
日本アートマネジメント学会

山田 尚彦

専攻分野：日本民俗学・文化人類学

研究テーマ：「地域社会における民俗芸能の継承と葛藤に関する研究」

「近代知識の大衆化に関する歴史社会学的研究」

[年間活動]

- ・講演会講師 学芸員講演会⑤「松戸でハワイ」(令和2年2月16日)

[執筆]

- ・「疑似餌サンマのデザイナーー中村資料補遺ー」『松戸市立博物館紀要』第27号 松戸市立博物館(令和2年3月31日)

[外部機関等協力活動]

- ・千葉大学非常勤講師「博物館資料論A」(令和元年10月1日～令和2年3月31日)

[所属学会]

日本文化人類学会、日本民具学会、相模民俗学会、文化資源学会、日本写真学会、メディア史研究会、文化財保存修復学会

6 資料の収集と利用

(1) 資料の収集

一次資料収集

受贈

- ・宮下友利 様 「柱時計」 1点
- ・奥井俊美 様 「西アジア・東南アジア地域の考古資料等」 313点
- ・高城忠雄 様 「高城忠雄家所蔵文書」 528点

寄託

- ・上本郷獅子講中 様 「上本郷獅子講中史料」 528点
「上本郷獅子舞 獅子頭羽根飾り」 3点
- ・石井正人 様 「石井包人家文書」 1227点

購入

- ・金町松戸関係文書 2点

二次資料収集

受贈図書 523冊

購入図書 97冊

交換図書 493冊

図書交換機関等 332ヶ所

購入逐次刊行物 40タイトル

受贈及び交換逐次刊行物 215タイトル



柱時計

西アジア・東南アジア地域の考古資料等



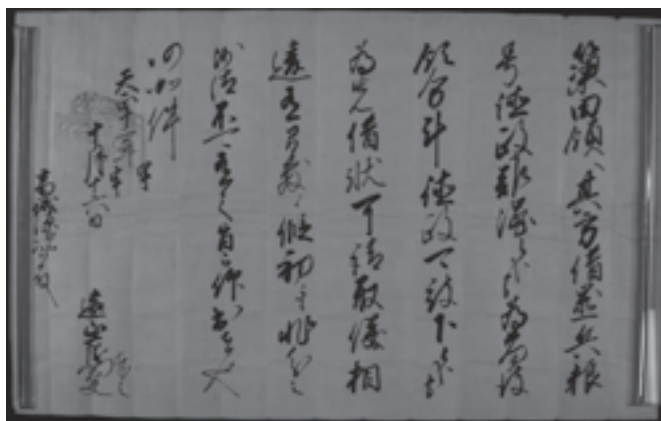
水差



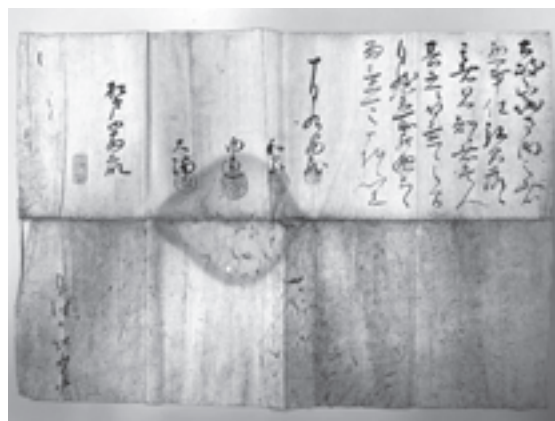
植物文水差



把手付壺



北条家朱印状（高城忠雄家文書）



金町松戸関係文書

(2) 博物館資料の貸し出し (平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日申請分)

No.	貸出期間	借用者	利用形態	目的	貸出資料・点数
1	令和元年 9 月 6 日～令和 2 年 3 月 31 日	一橋大学	資料貸出	松戸市幸谷「酒井時郎家文書」の目録作成・分析・解読作業のため	幸谷 酒井時郎家文書 1276 点
2	令和元年 10 月 1 日～令和元年 11 月 26 日	千葉県教育振興財団	資料貸出	令和元年度出土遺物公開事業「eco 生活事始め展」で展示するため	中峠遺跡出土石鏃 1 点

(3) 博物館資料の特別利用 (平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日申請分)

No.	利用日	利用者	利用形態	目的	利用資料・点数
1	平成 31 年 4 月 12 日	(株) エーワンネットワーク	写真利用	テレビ東京「昭和平成ヒット商品全部見せます」番組内で使用	常盤平団地 2DK 写真 1 点
2	令和元年 5 月 15 日	(株) 松本測量設計事務所	写真撮影	境界立会確認の参考とするため	紙公図(秋山字宿 4-4、9-1、9-2、10-1)
3	令和元年 5 月 22 日	横浜市歴史博物館	写真利用	企画展「”道灌以後”の戦国争乱―横浜・上原家文書にみる中世―」でのパネルおよび図録に掲載するため	北条氏康書状(西原文書)永禄七年正月四日付 1 点
4	令和元年 5 月 23 日	(株) JAL ブランドコミュニケーション	写真撮影・利用	JAL ART カレンダー(2020 年版)への掲載等	松戸市幸田貝塚出土土器 1 点
5	令和元年 6 月 1 日	(株) キャデック	写真利用	技術評論社発行『ずかん縄文土器』に掲載するため	貝の花遺跡出土土器写真 1 点
6	令和元年 6 月 20 日	新松戸ファミリーハイッ お助けボランティア隊	写真利用	ボランティア団体のサロン活動で披露するため	平成 31 年度館蔵資料展「カメラがとらえた松戸の風景」展示写真 52 点
7	令和元年 6 月 20 日	野田もの知り検定企画実行委員会	画像利用	冊子『野田もの知りクイズ 50 PART3』に掲載するため	東海道五十三次 関歌川広重画 1 点
8	令和元年 6 月 30 日	個人	調査・写真撮影	自由民権運動研究のため	大川五兵衛家文書 10 点
9	令和元年 7 月 9 日	(株) NHK エデュケーション 語学部	写真利用	NHK 国際放送「Japanology Plus」番組内で使用	常盤平団地 2DK 居間写真 1 点
10	令和元年 7 月 12 日	個人	調査	論文執筆のため	貝の花遺跡出土製塩土器 1 点
11	令和元年 7 月 13 日	松戸市教育委員会社会教育課文化財班	画像利用	講座の配布資料として使用するため	酒井美千代家文書(No.568) 1 点
12	令和元年 7 月 13 日	個人	写真撮影	自由民権運動を研究するため	大川五兵衛家文書 10 点
13	令和元年 8 月 1 日	千葉県博図公連携事業実行委員会	写真利用	「J1 グランプリ」(縄文遺物人気投票)の広報素材とするため	幸田貝塚出土土器写真 1 点
14	令和元年 8 月 25 日	個人	写真撮影	自由民権運動研究のため	大川五兵衛家文書 10 点

No.	利用日	利用者	利用形態	目的	利用資料・点数
15	令和元年8月31日	なないろ	写真利用	「ちばnote」9・10月号に掲載するため	松戸市立博物館全景写真1点、常盤平団地展示全景写真1点、常盤平団地展示内部写真3点
16	令和元年9月6日	UKIUKI	写真撮影	フリーペーパー『UKIUKI』597号に掲載するため	常盤平団地2DK1式
17	令和元年9月15日	(株) キャデック	写真利用	技術評論社発行『ずかん縄文土器』に掲載するため	幸田貝塚出土土器写真3点
18	令和元年9月21日～11月4日	(公財) 平山郁夫シルクロード美術館	写真利用	プチ写真展「土器だオブジェだ 八ヶ岳写真で絵本 小川忠博」において展示するため	幸田貝塚出土土器写真1点
19	令和元年10月5日	個人	写真撮影	自由民権運動を研究するため	大川五兵衛家文書10点
20	令和元年10月18日～11月30日	淑徳大学アーカイブズ	写真利用	2019年度特別展「祈りの姿 交流する生者と死者」のパネルおよび図録に掲載するため	企画展図録『人生儀礼の世界』掲載写真4点
21	令和元年10月25日	(株) ゆまに書房	写真利用	『ビジュアル日本の住まいの歴史4 近現代』に掲載するため	常盤平団地写真3点
22	令和元年10月25日	(株) 雄山閣	写真利用	雄山閣発行『身を飾る縄文人』に掲載するため	東平賀遺跡叉状角製品写真1点
23	令和元年11月1日	(株) ベネッセコーポレーション	写真利用	ベネッセコーポレーション発行の教材に掲載するため	白黒テレビ1点、ふろ1点
24	令和元年11月5日	個人	写真利用	論文中に掲載するため	「本土寺過去帳(天正本)7日条」写真1点
25	令和元年11月12日～令和2年3月31日	一橋大学	写真撮影	江戸時代の幸谷村の研究のため	酒井時郎家文書207点
26	令和元年11月12日	個人	写真撮影・利用	『東葛流山研究』38号掲載論文に使用するため	幸谷村絵図(「酒井時郎家文書」No.565)1点
27	令和元年11月13日	松戸市立博物館友の会	写真複製	友の会古文書部会テキスト作成のため	大熊義光氏所蔵文書「諸向御用留」1点
28	令和元年11月17日	個人	写真撮影・実測	修士論文執筆のため	河原塚古墳出土品1式
29	令和元年11月20日	個人	写真撮影	自由民権運動を研究するため	大川五兵衛家文書11点
30	令和元年12月20日	千葉県立中央博物館	調査	令和2年度開催予定の企画展に向けての資料事前調査のため	幸田貝塚出土土器等37点
31	令和2年1月6日	近代住機(株)	写真利用	社内イベントにおいて映写するため	松戸市内写真16点
32	令和2年1月6日	船橋古文書の会	調査・写真撮影	船橋古文書の会輪読テキストとして使用するため	吉岡家文書20点

No.	利用日	利用者	利用形態	目的	利用資料・点数
33	令和2年1月12日	個人	写真利用	印西歴史愛好会の研究発表において使用するため	幸田貝塚出土土器写真3点
34	令和2年1月31日	個人	写真撮影	自由民権運動研究のため	大川五兵衛家文書3点
35	令和2年2月20日	(株)新泉社	写真利用	新泉社発行『柴又八幡神社古墳』に掲載するため	行人台遺跡出土鑄造鉄斧・多孔式甗ほか写真4点
36	令和2年3月1日	野田もの知り検定企画実行委員会	画像利用	冊子『野田もの知りクイズ50 PART3』PDF版に掲載し、野田市立図書館ホームページで公開するため	東海道五十三次 関歌川広重画
37	令和2年3月3日	松戸コンテンツ事業者連絡協議会	写真撮影	パンフレットに掲載するため	総合展示室
38	令和2年3月7日	読売新聞社千葉支局	写真利用	読売新聞千葉版に掲載するため	「昭和15年頃の松戸飛行場」写真1点
39	令和2年3月9日	(株)日本アートセンター	写真利用	講談社発行『タテ割り日本史』第3巻に掲載するため	昭和の団地の居間(復元)写真1点
40	令和2年3月18日	個人	調査	博士論文執筆のため	子と清水貝塚出土土器13点
41	令和2年4月1日	東村山市教育部指導室	写真利用	社会科副読本『わたしたちの東村山』に掲載するため	常盤平団地2DK居間写真1点
42	令和2年4月1日	オフィスワイズメイツ合同会社	写真利用	正進社発行『社会科資料集6年』(改訂版)に掲載するため	幸田貝塚出土土器写真1点
43	令和4年4月1日	(株)帝国書院	写真利用	高等学校地理歴史科教科書『明解 歴史総合』(仮称)に掲載するため	常盤平団地2DK ダイニングキッチンと居間1点

(4) 資料の燻蒸

[収蔵庫燻蒸]

殺虫・殺卵・殺菌を目的とする燻蒸を行った。

期 間：令和元年 6 月 17 日～6 月 24 日

対 象：第 1～4 収蔵庫

委 託 先：関東港業(株)

使用薬剤：酸化プロピレン（商品名アルプ）

[燻蒸庫による資料燻蒸]

殺虫・殺卵・殺菌を目的とする燻蒸を 4 回行った。

期 間：①令和元年 8 月 28 日～8 月 30 日

②令和元年 10 月 16 日～10 月 30 日

③令和元年 10 月 30 日～11 月 13 日

④令和 2 年 3 月 26 日～3 月 31 日

対 象：①陶器、土器、書類

②畳、民具、古文書、衣類、錦絵等

③書籍

④古文書、考古資料、書類

委 託 先：関東港業(株)

使用薬剤：①酸化プロピレン（商品名アルプ）

②炭酸ガス（二酸化炭素）

③炭酸ガス（二酸化炭素）

④酸化プロピレン（商品名アルプ）

[学習資料展資料燻蒸]

殺虫・殺卵を目的とする燻蒸を行った。

期 間：平成 31 年 4 月 1 日～4 月 16 日

対 象：学習資料展資料

委 託 先：関東港業(株)

使用薬剤：炭酸ガス（二酸化炭素）

[野外展示・復元竪穴住居害虫駆除]

殺虫を目的とする駆除作業を行った。

期 間：令和元年 6 月 20 日～6 月 21 日

対 象：復元竪穴住居 3 棟

委 託 先：関東港業(株)

使用薬剤：フェノトリン炭酸製剤（商品名ミラクン S）

7 平成 31 / 令和元年度 常設展・企画展アンケート結果

■調査方法と設問内容

調査は、アンケート用紙をそれぞれ、エントランスホール（常設展アンケート）と企画展示室前ロビー（企画展アンケート）に置き、記入を利用者の任意に任せた調査票自己記入式で行った。

各アンケートに共通する設問は、回答者の性別、年齢、住所、来館回数、博物館に関する情報をどうやって入手したか、交通手段、職業、行動グループ、展示についての印象・感想である。

以下に、回答者の傾向を端的に示した“性別”と“年齢”のクロス集計、及び“来館回数”“満足度”という計3項目の結果をとりあげる。

(1) 平成 31 / 令和元年度常設展

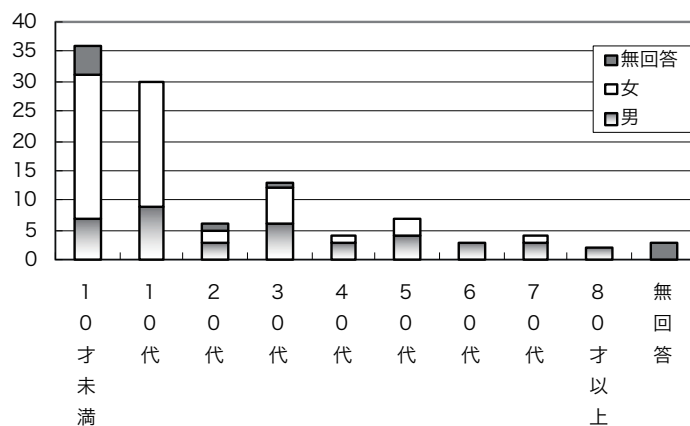
■観覧者数 12,666 人

■アンケート有効回答者数 108 件（回答率 0.9%）

■調査期間 平成 31 年 4 月 2 日（火）～令和 2 年 3 月 31 日（火）

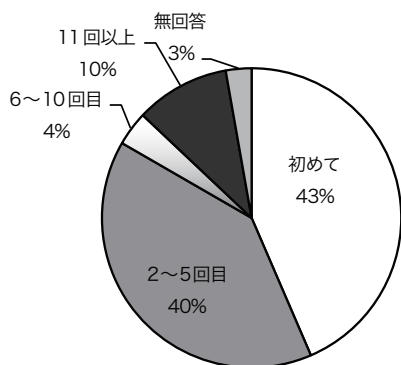
■アンケート回答者の傾向・・・年齢×性別のクロス集計

	男	女	無回答	計
10 才未満	7	24	5	36
10 代	9	21	0	30
20 代	3	2	1	6
30 代	6	6	1	13
40 代	3	1	0	4
50 代	4	3	0	7
60 代	3	0	0	3
70 代	3	1	0	4
80 才以上	2	0	0	2
無回答	0	0	3	3
計	40	58	10	108



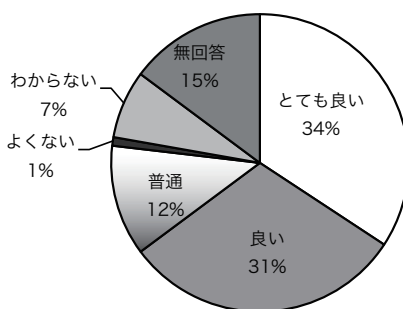
■来館回数（件）

初めて	47
2～5 回目	43
6～10 回目	4
11 回以上	11
無回答	3
計	108



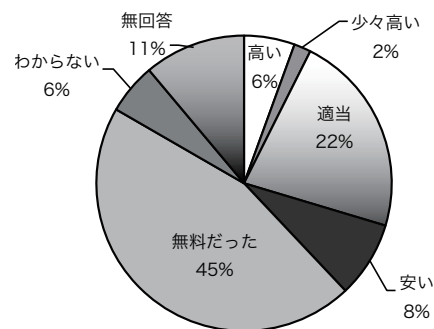
■回答者の満足度(件)

展示について	
とても良い	37
良い	33
普通	13
よくない	1
わからない	8
無回答	16
計	108



■観覧料について(件)

高い	6
少々高い	2
適当	24
安い	9
無料だった	49
わからない	6
無回答	12
計	108



(2) 館蔵資料展「カメラがとらえた松戸の風景－戦後から平成まで－」

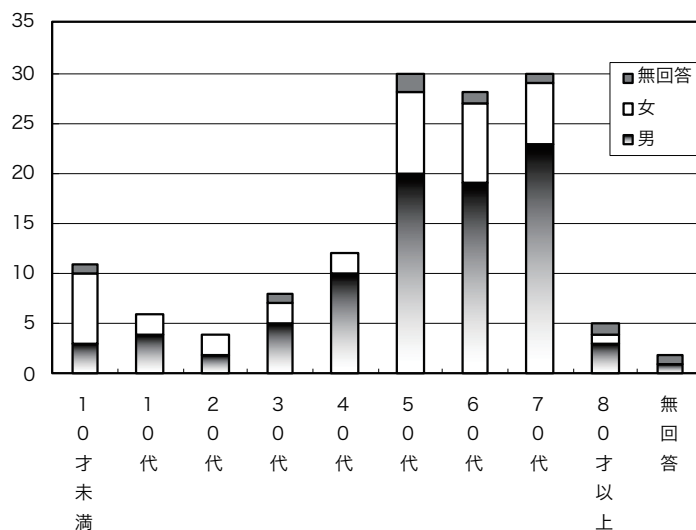
■観覧者数 2,924 人

■アンケート有効回答者数 136 件（回答率 4.7%）

■調査期間 平成 31 年 4 月 23 日（火）～令和元年 6 月 9 日（日）

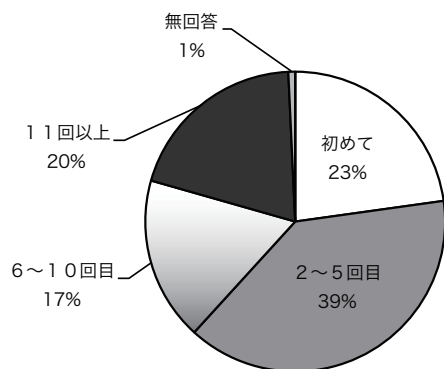
■アンケート回答者の傾向・・・年齢×性別のクロス集計

	男	女	無回答	計
10 才未満	3	7	1	11
10 代	4	2	0	6
20 代	2	2	0	4
30 代	5	2	1	8
40 代	10	2	0	12
50 代	20	8	2	30
60 代	19	8	1	28
70 代	23	6	1	30
80 才以上	3	1	1	5
無回答	1	0	1	2
計	90	38	8	136



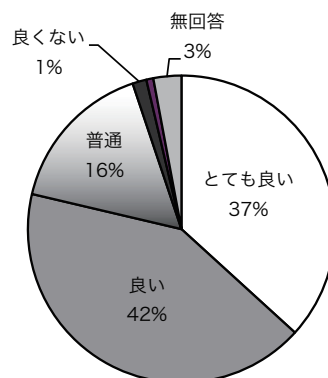
■来館回数（件）

初めて	31
2～5 回目	53
6～10 回目	24
11 回以上	27
無回答	1
計	136



■回答者の満足度(件)

展示について	
とても良い	50
良い	57
普通	22
よくない	2
わからない	1
無回答	4
計	136

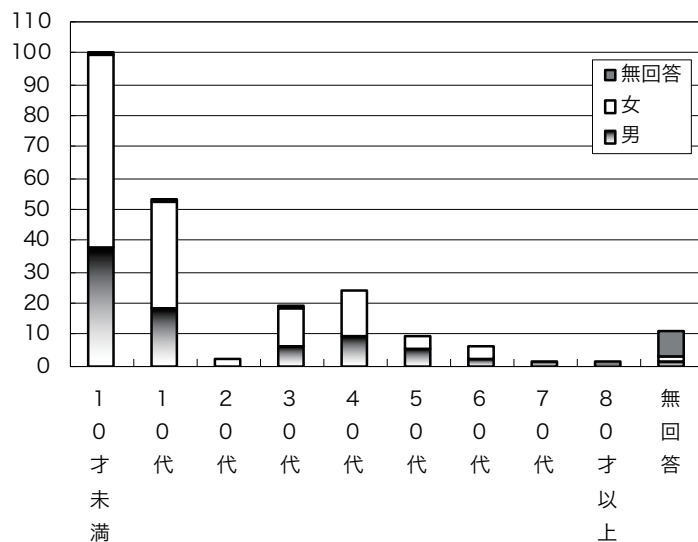


（3）企画展「こどもミュージアム－おとも楽しい歴史体験－」

- 観覧者数 5,109 人
- アンケート有効回答者数 226 件（回答率 4.3%）
- 調査期間 令和元年 7 月 20 日（土）～令和元年 9 月 16 日（月・祝）

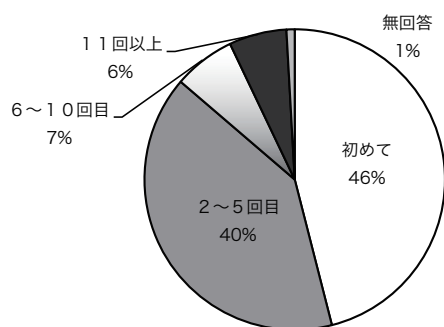
■アンケート回答者の傾向・・・年齢×性別のクロス集計

	男	女	無回答	計
10 才未満	38	61	1	100
10 代	18	34	1	53
20 代	0	2	0	2
30 代	6	12	1	19
40 代	9	15	0	24
50 代	5	4	0	9
60 代	2	4	0	6
70 代	1	0	0	1
80 才以上	0	0	1	1
無回答	1	2	8	11
計	80	134	12	226



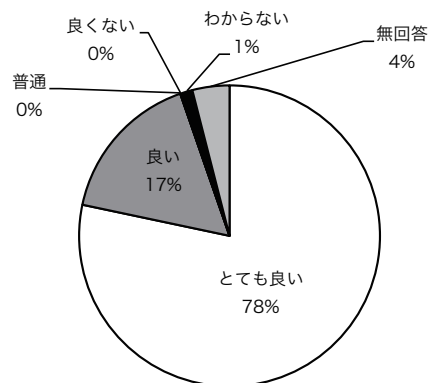
■来館回数（件）

初めて	104
2～5 回目	91
6～10 回目	15
11 回以上	14
無回答	2
計	226



■回答者の満足度(件)

展示について	
とても良い	177
良い	37
普通	0
よくない	0
わからない	3
無回答	9
計	226

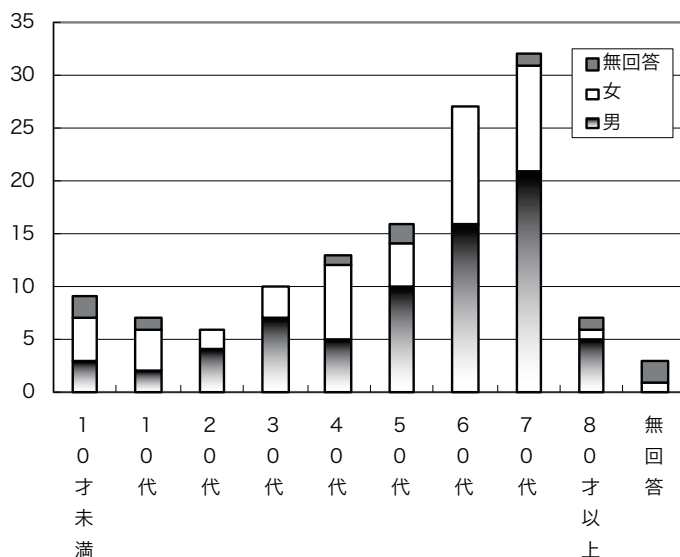


(4) 館蔵資料展「縄文貝塚 貝の花遺跡展」

- 観覧者数 3,103 人
- アンケート有効回答者数 130 件（回答率 4.2%）
- 調査期間 令和元年 10 月 5 日（土）～令和元年 11 月 24 日（日）

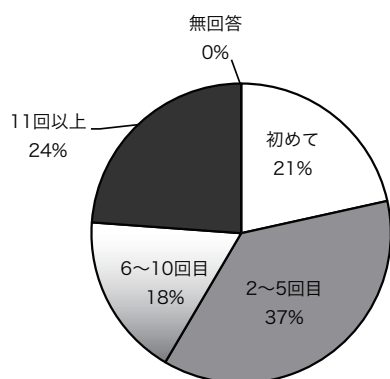
■アンケート回答者の傾向・・・年齢×性別のクロス集計

	男	女	無回答	計
10 才未満	3	4	2	9
10 代	2	4	1	7
20 代	4	2	0	6
30 代	7	3	0	10
40 代	5	7	1	13
50 代	10	4	2	16
60 代	16	11	0	27
70 代	21	10	1	32
80 才以上	5	1	1	7
無回答	0	1	2	3
計	73	47	10	130



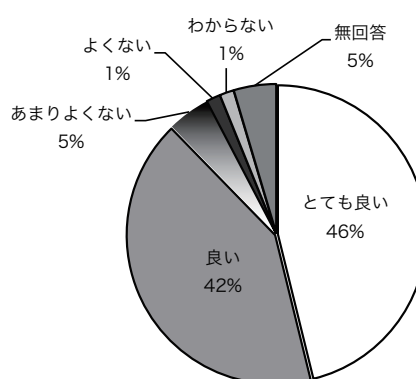
■来館回数（件）

初めて	28
2～5 回目	48
6～10 回目	23
11 回以上	31
無回答	0
計	130



■回答者の満足度(件)

展示について	
とても良い	60
良い	54
普通	6
よくない	2
わからない	2
無回答	6
計	130

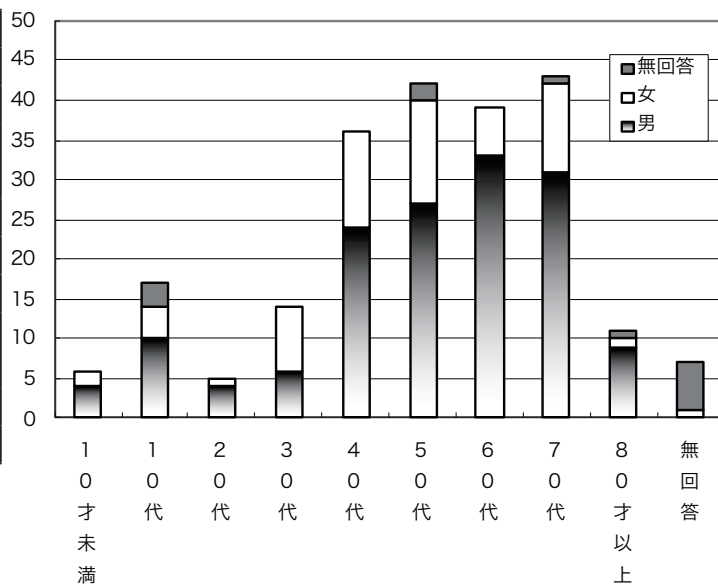


(5) 館蔵資料展「小金城と根木内城」

- 観覧者数 2,813 人
- アンケート有効回答者数 220 件（回答率 7.8%）
- 調査期間 令和2年1月11日（土）～令和2年3月1日（日）

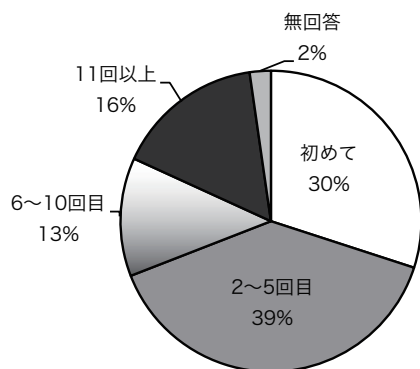
■アンケート回答者の傾向・・・年齢×性別のクロス集計

	男	女	無回答	計
10才未満	4	2	0	6
10代	10	4	3	17
20代	4	1	0	5
30代	6	8	0	14
40代	24	12	0	36
50代	27	13	2	42
60代	33	6	0	39
70代	31	11	1	43
80才以上	9	1	1	11
無回答	0	1	6	7
計	148	59	13	220



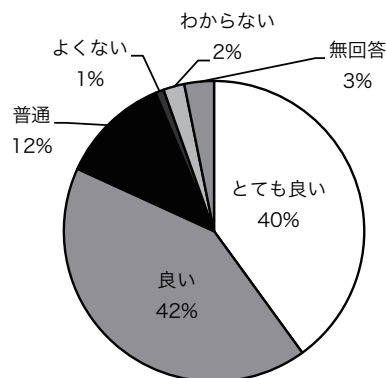
■来館回数（件）

初めて	66
2～5回目	86
6～10回目	28
11回以上	35
無回答	5
計	220



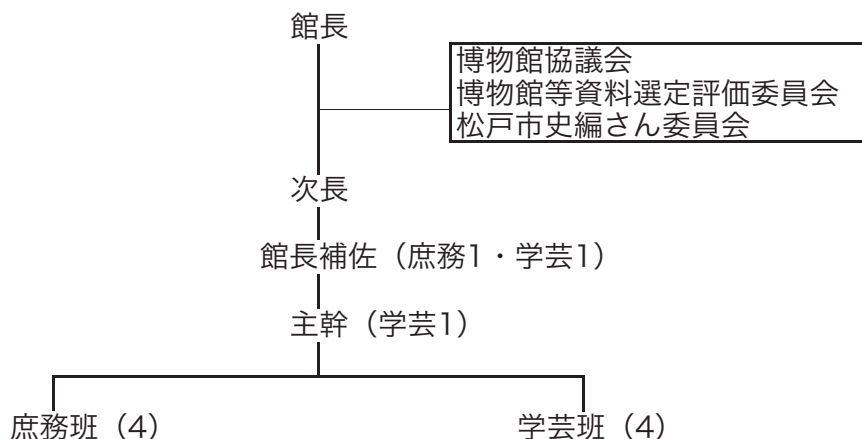
■回答者の満足度(件)

展示について	
とても良い	88
良い	92
普通	26
よくない	2
わからない	5
無回答	7
計	220



IV 組 織 と 運 営

1 組織



2 歳出予算

単位：千円

事業 科目	予算額	内訳			
		管理 運営	展示 事業	学習 支援	資料 収集
報酬	304	204	0	0	100
賃金	20,552	0	4,360	12,398	3,794
報償	775	0	105	440	230
旅費	280	0	170	0	110
需用	28,061	20,801	4,755	506	1,999
役務	2,608	572	1,814	63	159
委託	88,839	69,864	12,234	735	6,006
使用	12,155	9,386	2,156	613	0
工事	20,000	20,000	0	0	0
原材	35	35	0	0	0
備品	1,465	98	317	100	950
負担	199	0	105	0	94
計	175,273	120,960	26,016	14,855	13,442

3 事務事業

事務事業名	事務事業の主な内容
博物館管理運営事業	施設の維持管理を目的としており、館利用者が安全で快適な環境で学習できるよう施設を整備する。また、博物館協議会において、適正な事業方針を審議する。
博物館展示事業	総合展示・主題展示・野外展示・映像展示で構成し、市民に郷土の歴史と文化への理解を深めてもらう。また、年4回程度、企画展・資料展・学習資料展を実施する。
博物館学習支援事業	歴史講座・体験教室・講演会等の開催、デジタル情報の提供、学校教育との連携などを図り、松戸の歴史文化等にかかわる最新情報を様々な媒体を通して提供する。
博物館歴史資産収集調査事業	松戸を中心とする歴史・文化・自然史等に関する資料の収集・保存及び調査研究を行い、市民の共有の資産として後世に伝える。
市史編さん事業	市民に郷土の歴史を知ってもらい、郷土に対する誇りを育てるため、松戸市史の編さんを行う。 平成10年度に市長から諮問のあった『松戸市史 上巻』の改訂については、平成26年度に『松戸市史 上巻 (改訂版)』の刊行を行ったので、現在は、市長よりの諮問案件はない。

4 各種委員会等

(1) 博物館協議会

委員名簿

(令和2年3月31日現在)

区分	氏名	役職等
1号委員 学校教育関係者	大島 賢一	松戸市立八ヶ崎小学校校長
	大西 一樹	松戸市立馬橋北小学校教諭
2号委員 社会教育関係者	山口 恵理子	北部幼稚園副園長
	岡田 啓峙	松戸市立博物館友の会会長
	谷鹿 栄一	千葉県立現代産業科学館主任上席研究員
3号委員 家庭教育の向上に資する活動を行う者	百田 清美	NPO法人ねばあらんど理事長
4号委員 学識経験者	濱島 正士	国立歴史民俗博物館名誉教授(建築史学)
	佐藤 孝之	松戸市文化財審議会委員(近世史)
	小島 孝夫	成城大学教授(民俗学)
	日高 慎※	東京学芸大学教授(考古学)

任期2年 令和3年9月30日まで

※令和元年9月30日で安藤政雄が任期満了により退任

令和元年10月1日に日高慎が就任

第1回協議会

令和元年8月18日(日)

会場：博物館会議室

- 議題：(1) 令和元年度博物館事業概要の説明
(2) 松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画策定の今後の進め方について
(3) 計画の骨子について
(4) 企画展「こどもミュージアム－おとなも楽しい歴史体験－」視察見学、意見交換
(5) その他

第2回協議会

令和元年11月16日(土)

会場：博物館会議室

- 議題：(1) 会長・副会長互選
(2) 松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画について
(3) (仮称) こども歴史博物館構想について
・こどもモニター意見発表(DVD視聴)
・企画展「こどもミュージアム」の検証報告
(4) 館蔵資料展「縄文貝塚 貝の花遺跡展」内覧と意見交換
(5) その他
・今後のスケジュール(変更)について
・松戸市教員博物館研修報告(参考)

第3回協議会

令和2年3月7日(土)

会場：博物館会議室

- 議題：(1) リニューアル基本構想・基本計画(案)について
(2) 館蔵資料展「小金城と根本内城」内覧と意見交換
(3) 今後のスケジュールについて
(4) その他

(2) 博物館等資料選定評価委員会

委員名簿

(令和2年3月31日現在)

氏名	専門	役職等
安藤 政雄	考古	明治大学名誉教授
金子 隆一	写真	元東京都写真美術館学芸員、写真史家
久保田 昌希	歴史	駒澤大学教授
佐野 賢治	民俗	神奈川大学教授
松尾 美恵子	歴史	学習院女子大学名誉教授

任期2年 令和3年3月31日まで

第1回協議会

令和2年3月8日(日)

会場：博物館会議室

- 議題：(1) 委員長・副委員長の選出について
(2) 「高城忠雄家所蔵文書」の選定評価について
(3) 「シルクロード関連考古美術資料・東南アジア仏教美術品」の選定評価について

(3) 松戸市史編さん委員会

※「3 事務業務」にて記載のとおり、平成10年度に市長から諮問のあった事業については、平成26年度で終了したので、現在は市長からの諮問案件はない。

5 博物館利用者数の統計

利用者総計 57,676 人

利用者の内訳は以下の通りである。

常設展示観覧者数（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

月	開館 日数 (日)	有料観覧者数 (人)					無料観覧者数 (人)								観覧者 総数 (人)
		個人		団体		有料 観覧者 計	学習 活動	身体 障害者	70 歳以 上	中学生 以下	視察等	友の会	無料 開放日	無料 観覧者 計	
		一 般	高校生 大学生	高校生 大学生	一 般										
4	26	418	32	24	0	474	299	45	53	186	60	0	410	1,053	1,527
5	27	403	20	0	0	423	318	46	53	107	32	5	1,875	2,436	2,859
6	19	280	18	34	0	332	361	45	90	66	16	7	46	631	963
7	26	386	47	0	0	433	15	48	21	169	104	8	0	365	798
8	27	619	53	0	0	672	19	76	47	430	32	6	0	610	1,282
9	24	400	21	0	0	421	68	81	21	188	11	19	0	388	809
10	26	283	14	20	0	317	13	73	40	90	5	42	125	377	694
11	26	388	19	126	0	533	92	67	67	98	56	2	665	1,047	1,580
12	22	234	24	202	0	460	46	24	48	97	51	7	0	236	696
1	22	316	24	27	0	367	4	67	47	110	24	22	0	274	641
2	24	418	26	0	0	444	14	51	59	139	6	5	0	274	718
3	1	29	4	0	0	33	0	3	8	7	0	0	0	18	51
計	270	4,174	302	433	0	4,909	1,249	626	554	1,687	397	123	3,121	7,757	12,666

企画展示等観覧者数

展覧会	開催期間	開館 日数 (日)	有料観覧者数(人)					無料観覧者数(人)								観覧者 総数 (人)
			個人		団体		有料 観覧者 計	学習 活動	身体 障害者	70 歳 以上	中学生 以下	視察等	友の会	無料 開放日	無料 観覧者 計	
			一 般	高校生 大学生	一 般	高校生 大学生										
館蔵資料展「カメラ がとらえた松戸の 風景」	H31.4.23 ～ R1.6.9	43													2,924	2,924
企画展「こどもミュ ージアム—おとなも 楽しい歴史体験—」	R1.7.20 ～ R1.9.16	51													5,109	5,109
館蔵資料展「縄文貝 塚 貝の花遺跡」	R1.10.5 ～ R1.11.24	44													3,103	3,103
館蔵資料展「小金城 と根本内城」	R2.1.11 ～ R2.3.1	42													2,813	2,813
小計		180													13,949	13,949
第 4 回博物館アワ ード作品展	R1.12.10 ～ R1.12.22	12													432	432
中学生・高校生 縄 文土器に挑戦 by drawing 作品展	R1.8.3 ～ R1.8.25	20													(1,925)	(1,925)
出土遺物公開事業「eco 生活事始め」	R1.10.5 ～ R1.11.24	44													(3,103)	(3,103)
計		192													14,381	14,381

※平成 31・令和元年度の企画展・館蔵資料展等は全て無料展示であり、観覧者の内訳を把握していない。

※「中学生・高校生 縄文土器に挑戦 作品展」、出土遺物公開事業「eco 生活事始め」は他の企画展・館蔵資料展と開催期間が重複するため合計に含めていない。

博物館無料ゾーン利用者

博物館施設名	プレイルーム	映像展示	野外展示	講座・講演会等参加者	合計
日数（日）	270	270	270	—	—
利用者総（人）	11,999	2,473	13,559	2,598	30,629

博物館利用者総計（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

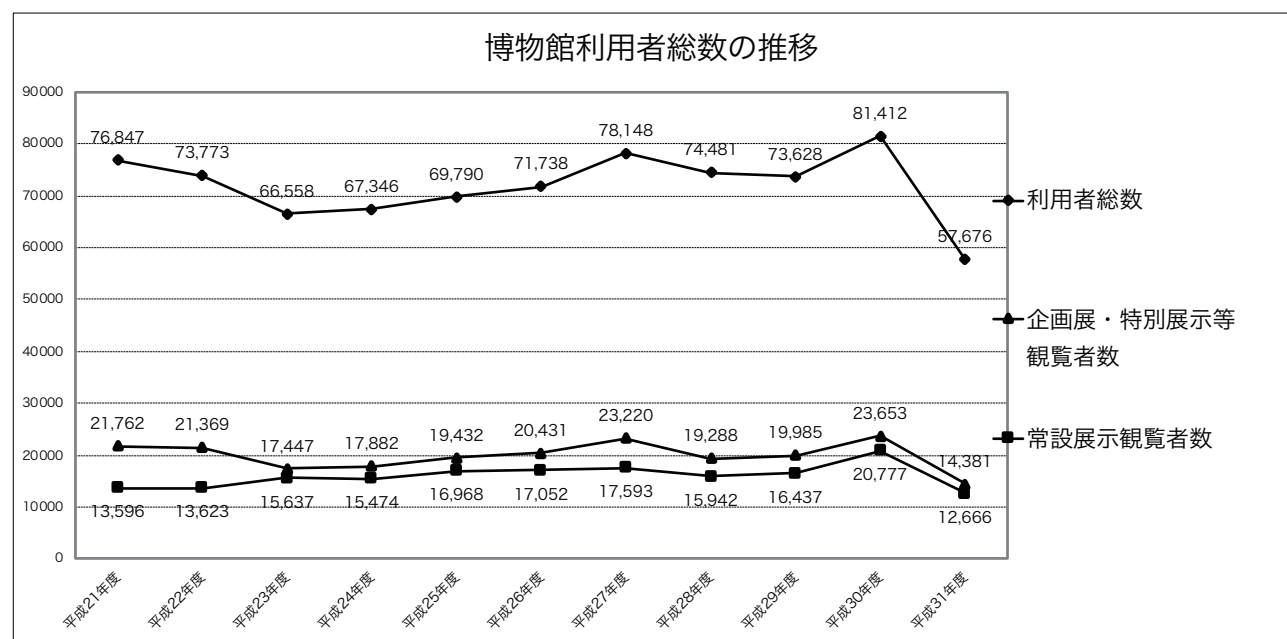
単位：人

	平成30年度	平成31年度	前年度比較
常設展示観覧者数	20,777	12,666	△ 8,111
企画展・特別展示等観覧者数	23,653	14,381	△ 9,272
博物館無料ゾーン利用者	36,982	30,629	△ 6,353
利用者総計	81,412	57,676	△ 23,736

博物館利用者総数の推移

単位：人

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
利用者総数	76,847	73,773	66,558	67,346	69,790	71,738	78,148	74,481	73,628	81,412	57,676
常設展示観覧者数	13,596	13,623	15,637	15,474	16,968	17,052	17,593	15,942	16,437	20,777	12,666
企画展・特別展示等観覧者数	21,762	21,369	17,447	17,882	19,432	20,431	23,220	19,288	19,985	23,653	14,381
(うち) 企画展観覧者数	4,330	1,993	5,766	2,885	2,576	2,641	3,809	2,917	4,153	8,959	5,109
その他展示観覧者数	17,432	19,376	11,681	14,997	16,856	17,790	19,411	16,371	15,832	14,694	9,272
講座・講演会等参加者数	2,159	3,384	2,802	3,368	3,259	3,291	3,052	5,999	6,910	6,554	2,598



6 来訪者（敬称略）

平成 31 年

- 4 月 23 日 J:COM 取材
- 4 月 27 日 千葉大学 見学
- 4 月 28 日 J:COM 取材

令和元年

- 5 月 4 日 聖徳大学 見学（学芸員資格課程）
- 5 月 16 日 東京新聞 取材
- 5 月 21 日 松戸市教育研究所 見学
- 6 月 4 日 読売新聞 取材
- 6 月 11 日 （株）スクール・コーポレーション 取材
- 6 月 15 日 川村学園女子大学 見学（学芸員課程）
- 7 月 5 日 聖徳大学 見学
- 7 月 19 日 朝日新聞 取材
- 7 月 20 日 J:COM 取材
- 7 月 21 日 江戸川大学 見学（社会学部現代社会学科）
- 8 月 3 日 読売新聞 取材
- 8 月 23 日 東葛地区民生委員・主任児童委員会 見学
- 11 月 8 日 千葉県高等学校教育研究会美術・工芸部会 見学
- 11 月 12 日 東葛飾地方教育事務所 視察
- 11 月 20 日 千葉県教育研究会松戸支会社会科教育部会 見学
- 12 月 7 日 千葉大学 見学（学芸員資格課程）

令和 2 年

- 1 月 14 日 J:COM 取材
- 1 月 28 日 J:COM 取材
- 2 月 12 日 千葉日報 取材
- 2 月 27 日 読売新聞 取材

V 条 例 ・ 規 則

松戸市立博物館条例

平成4年9月24日松戸市条例第28号

(趣旨)

第1条 この条例は、松戸市立博物館（以下「博物館」という。）の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 本市は、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館を次のとおり設置する。

名称	位置
松戸市立博物館	松戸市千駄堀 671 番地

(管理)

第3条 博物館は、松戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が管理する。

(職員)

第4条 博物館に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(事業)

第5条 博物館は、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 歴史、考古、民俗、自然史等に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、フィルム等の資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 博物館資料に関する調査研究を行うこと。
- (3) 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (4) 博物館資料に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (5) 博物館資料の利用に関し必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- (6) 他の博物館、美術館、文書館、図書館、学校その他学術又は文化に関する施設との相互協力に関すること。
- (7) その他教育委員会が必要と認める事業

(観覧料)

第6条 博物館に展示されている博物館資料を観覧しようとする者は、別表に定める観覧料を納入しなければならない。

2 教育委員会は、特に必要と認める場合においては、前項の観覧料を免除することができる。

3 既納の観覧料は、返還しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、返還することができる。

(入館の制限及び退館)

第7条 教育委員会は、次の各号の一に該当すると認めるときは、入館を禁止し、又は退館させることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれのあるとき。
- (2) 博物館の施設、展示品等を損壊するおそれのあるとき。
- (3) その他博物館の管理上支障があるとき。

(博物館協議会)

第8条 博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第1項の規定により、博物館に松戸市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員10人以内で組織し、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験者

3 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 前2項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して8か月を超えない範囲内において教育委員会が規則で定める日から施行する。

(平成5年3月26日松戸市教育委員会規則第2号

で、同5年4月29日から施行)

附 則(平成10年3月27日松戸市条例第11号)

この条例は、平成10年4月1日から施行する。

附 則(平成13年6月21日松戸市条例第23号)

この条例は、平成13年10月1日から施行する。

附 則(平成23年3月30日松戸市条例第11号)

この条例は、平成23年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月29日松戸市条例第7号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

別表(第6条関係)

区分		観覧料(1人1回につき)	
		個人	団体(20人以上)
常設展示	一般	310円	250円
	高校生・大学生	150円	100円
	中学生以下	無料	無料
企画・特別展示	次の各号に掲げる額を超えない範囲内において、その都度展示内容に応じ、教育委員会が定める。ただし、中学生以下の者に係る観覧料にあつては、無料とする。 (1) 一般 1,200円 (共通観覧料については、1,440円) (2) 高校生・大学生 600円 (共通観覧料については、700円)		

松戸市立博物館管理運営規則

(平成5年3月26日松戸市教育委員会規則第3号)

(趣旨)

第1条 この規則は、松戸市立博物館条例(平成4年松戸市条例第28号。以下「条例」という。)

第9条の規定により、松戸市立博物館(以下「博物館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、博物館への入館時間は、午後4時30分までとする。

2 松戸市教育委員会(以下「教育委員会」という。)

は、必要と認めるときは、前項に規定する開館時間及び入館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、臨時に

休館し、又は休館日を変更することができる。

(1) 月曜日

(2) 1月1日から4日まで及び12月28日から31日まで

(3) 館内整理日(毎月第4金曜日とする。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「祝日法による休日」という。)である場合は、この限りでない。)

2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が祝日法による休日に当たるときは、その日後において、その日に最も近い祝日法による休日でない日を休館日とする。

(観覧券の交付)

第4条 条例第6条第1項の規定により、所定の観覧料を徴収したときは、観覧券(第1号様式)を交付するものとする。

(観覧料の免除等)

第5条 条例第6条第2項の規定により、観覧料を免除することができる場合は、次に掲げるとおりとする。

(1) 高校生、大学生及び大学生以下の者を引率する者が教育課程に基づく学習活動として観覧するとき。

(2) 博物館が開催する講演会、講習会、研究会等に参加する者が観覧するとき。

(3) 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護人(手帳の交付を受けている者1人につき1人に限る。)が観覧するとき。

(4) 市内に居住する70才以上の者が観覧するとき。

(5) 県民の日を定める条例(昭和59年千葉県条例第3号)第2条に定める日に観覧するとき。

(6) その他教育委員会が必要と認めたとき。

2 観覧料の免除を受けようとする者で前項第1号に該当するものは、あらかじめ博物館観覧料免除申請書(第2号様式)を教育委員会に提出し、承認を受けなければならない。

(観覧料の返還)

第6条 条例第6条第3項ただし書の規定により、観覧料の返還を受けようとする者は、博物館観覧料返還申請書(第3号様式)を教育委員会に提出

し、承認を受けなければならない。

(資料の貸出し)

第7条 教育委員会は、次の各号に掲げる者に対し、博物館業務に支障がないと認めるときは、博物館で所蔵する資料を貸し出すことができる。

(1) 国立博物館、博物館法（昭和26年法律第285号）第2条第1項の規定による博物館及び同法第29条の規定による博物館に相当する施設の設置者

(2) 前号に掲げる者のほか、教育委員会において特に認める者

2 博物館資料の貸出しを受けようとする者は、博物館資料貸出申請書（第4号様式）を教育委員会に提出し、博物館資料貸出許可書（第5号様式）の交付を受けなければならない。

3 博物館資料の貸出期間は、60日以内とする。ただし、教育委員会が必要があると認めるときは、これを延長することができる。

(文献等の閲覧等)

第8条 教育委員会は、必要があると認めるときは、博物館で所蔵する資料のうち文書及び図書（以下「文献等」という。）の閲覧又は複写（文書については、マイクロフィルムに保存されているものに限る。）をさせることができる。

2 文献等を閲覧しようとする者は、博物館文献等閲覧許可申請書（第6号様式）を教育委員会に提出し、博物館文献等閲覧許可証（第7号様式）の交付を受けなければならない。

3 博物館文献等閲覧許可証の有効期間は、交付の日から1年とする。

4 文献等の複写を希望する者は、博物館文献等複写申請書（第8号様式）により教育委員会の許可を受けなければならない。

(閲覧又は複写の制限)

第9条 教育委員会は、次の各号に掲げる文献等の閲覧又は複写を許可しないものとする。

(1) 未公開及び未整理のもの

(2) 保存に影響を及ぼすおそれがあると認められるもの

(3) 寄託された文献等で寄託者の同意を得ていないもの

(4) その他教育委員会が不適当と認めたもの

(入館者の遵守事項)

第10条 博物館の入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 施設、設備、展示資料等を汚損し、又は損傷しないこと。

(2) 許可なく展示資料の写真撮影、模写等の行為を行わないこと。

(3) 所定の場所以外において喫煙し、飲食し、又は火気を使用しないこと。

(4) 無断で広告その他これに類するものを掲示又は配布しないこと。

(5) 他人に危害を加え、又は迷惑となる行為をしないこと。

(6) 前各号に定めるもののほか、教育委員会の指示に従うこと。

(所掌事務)

第11条 博物館の所掌事務は、別表のとおりとする。

(職務)

第12条 館長は、博物館の事務を掌理し、職員を指揮監督する。

2 次長は、館長を補佐し、所属の事務を統轄する。

3 館長補佐は、館長及び次長を補佐する。

4 その他の職にある者は、上司の命を受け、担任事務を処理する。

(博物館協議会の会長等)

第13条 条例第8条第1項に規定する博物館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(博物館協議会の会議等)

第14条 協議会の会議は、会長が招集し、議長となる。

2 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 協議会は、特に必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

5 協議会の会議は、公開を原則とする。ただし、協議会において会議を公開しないと認めたとき

は、この限りでない。

6 協議会の庶務は、博物館において処理する。

7 前各項に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。
(委任)

第15条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、平成5年4月29日から施行する。

附 則 (平成6年3月31日松戸市教育委員会規則第9号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則 (平成6年3月31日松戸市教育委員会規則第10号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則 (平成7年3月2日松戸市教育委員会規則第5号)

この規則中、第5条第1項の改正規定は平成7年4月1日から、第11条に1号を加える改正規定は公布の日から施行する。

附 則 (平成8年3月14日松戸市教育委員会規則第3号)

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則 (平成10年3月26日松戸市教育委員会規則第9号)

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則 (平成13年7月11日松戸市教育委員会規則第12号)

この規則は、平成13年10月1日から施行する。

附 則 (平成14年3月4日松戸市教育委員会規則第1号)

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年3月31日松戸市教育委員会規則第8号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成23年3月30日松戸市教育委員会規則第3号)

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月30日松戸市教育委員会規則第4号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (平成25年3月15日松戸市教育委員会規則第4号)

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成30年3月13日松戸市教育委員会規則第2号)

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

別表 (第11条関係)

- ・文書の収受、保存及び公印の管理に関すること。
- ・観覧料の徴収に関すること。
- ・予算、経理及び物品の管理に関すること。
- ・要覧及び年報の作成に関すること。
- ・財産の管理に関すること。
- ・施設及び設備の維持管理に関すること。
- ・博物館協議会に関すること。
- ・資料選定評価委員会に関すること。
- ・市史編さんに関すること。
- ・市史編さん委員会に関すること。
- ・関係団体との連絡調整に関すること。
- ・資料の収集、保存及び展示に関すること。
- ・資料の調査及び研究に関すること。
- ・資料に関する講座、講演会、研究会等の開催に関すること。
- ・資料に関する目録、解説書、図録、調査研究、報告書等の作成に関すること。
- ・資料に関する相談、情報提供に関すること。
- ・博物館資料に関する閲覧、貸出等についての許可に関すること。
- ・博物館資料の寄贈、寄託に関すること。
- ・他の博物館、図書館、学校等との連絡及び協力に関すること。
- ・その他博物館の専門的事項に関すること。

第1号様式～第8号様式 省略

松戸市立博物館等資料選定評価委員会条例

(平成26年12月25日松戸市条例第28号)

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、松戸市立博物館等資料選定評価委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、松戸市立博物館及び松戸市戸定歴史館における歴史に関する資料(以下「歴史資料」という。)の収集を適正かつ円滑に行うため、松戸市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議する。

(1) 歴史資料の真がんに関する事項

(2) 歴史資料の価格の適否に関する事項

(3) 歴史資料の寄贈及び寄託の受入れ又は購入の適否に関する事項

(4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、学識経験を有する者その他教育委員会が必要と認める者のうちから教育委員会が委嘱する。

2 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第6条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第8条 委員会は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の専門的知識を有する者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。(特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部改正)

2 特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例(昭和31年松戸市条例第15号)の一部を次のように改正する。

別表2に次のように加える。

松戸市立博物館等資料選定評価委員会委員	日額 20,000円
---------------------	------------

※「松戸市立博物館等資料選定評価委員会設置要綱」については、「松戸市立博物館等資料選定評価委員会条例」(平成26年12月25日松戸市条例第28号)として条例化されたことに伴い、平成27年3月31日付で廃止となった。

松戸市史編さん委員会条例

(昭和55年3月26日松戸市条例第3号)

(設置)

第1条 郷土をより深く理解することによつて市民の愛郷心を振起させ、あわせて市勢発展の基礎資料となる松戸市史を編さんするために、松戸市史編さん委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、市長の諮問に応じ、松戸市史の編さんについて調査審議する。

(組織)

第3条 委員会は、5人の編さん委員で組織し、次に掲げる者のうちから市長が委嘱又は任命する。

(1) 学識経験者

(2) 市の職員

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、これを代理する。

(招集及び会議)

第6条 会議は、委員長が招集する。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、委員会に 関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和55年4月1日から施行する。

(松戸市誌編さん委員会条例の廃止)

2 松戸市誌編さん委員会条例（昭和28年松戸市条例第23号）は、廃止する。

(松戸市役所部課設置条例の一部改正)

3 松戸市役所部課設置条例（昭和38年松戸市条例第3号）の一部を次のように改正する。

第2条総務部の項中「市誌編さん」を「市史編さん」に改める。

松戸市立博物館研究員設置要綱

(目的)

第1条 この要綱は、松戸市立博物館（以下「博物館」という。）の資料整備並びに学校教育及び社会教育における博物館の活用に関し、専門的な調査研究に資するため、博物館に研究員をおく。

(定数)

第2条 研究員の定数は、8人を超えない範囲内において、館長が定める。

(委嘱)

第3条 研究員は、博物館の業務に関し、学識経験を有する者のうちから、博物館館長が委嘱する。

(任期)

第4条 研究員の任期は、1年とする。ただし、年度中途に委嘱された研究員の任期は、当該年度末までとする。

(職務)

第5条 研究員は、次に掲げる職務に従事する。

- (1) 博物館の資料の収集、保管、展示等に関する専門的、技術的な調査研究
- (2) 学校教育及び社会教育における博物館の活用に関する専門的な調査研究
- (3) その他博物館の事業に関する専門的な調査研究

(会議)

第6条 館長は、研究員の職務の円滑な遂行を図

るため、必要と認めるときは、研究員の会議を開催することができる。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、館長が定める。

附 則

この要綱は、平成5年12月1日から施行する。

松戸市立博物館資料取扱い及び特別利用に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、松戸市立博物館（以下「博物館」という。）における博物館資料（以下「資料」という。）の寄贈又は寄託による受入れ、貸出し、借入れ及び調査又は研究のための特別利用に関し、必要な手続を定めるものとする。

(寄贈の申込み)

第2条 松戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、資料の寄贈を受けるときは、寄贈の申込みをする者から資料寄贈申込書を徴するものとする。

(寄贈の承認)

第3条 教育委員会は、寄贈を受けることとなった資料を受領したときは、寄贈者に資料受領書を交付するものとする。

(寄託の申込み)

第4条 教育委員会は、資料の寄託を受けるときは、資料の寄託の申込みをする者から資料寄託申込書を徴するものとする。

(寄託資料の受託及び返還)

第5条 教育委員会は、寄託を受けることとなった資料を受領したときは、寄託者に資料受託証書を交付するものとする。

2 寄託を受けた資料（以下「寄託資料」という。）の返還は、資料受託証書と引き替えに行うものとする。

(資料の一時預り)

第6条 教育委員会は、資料の寄贈又は寄託の申込みがあつた場合において、資料の寄贈又は寄託の可否を決定するために必要と認めるときは、当該申込者に対し資料の一時預りを求めることができる。

2 教育委員会は、前項の場合において当該申込者が資料の一時預りを承諾したときは、資料と引きかえに資料一時預り証を交付するものとする。
(寄託期間)

第7条 寄託期間は、3年とする。

2 前項の寄託期間の起算日は、寄託を受けた日の属する年度の4月1日とする。

3 教育委員会は、寄託期間の更新をするときは、寄託者から新たに資料寄託申込書を徴するとともに、寄託者に新たに資料受託証書を交付するものとする。

(寄託期間内の返還)

第8条 教育委員会は、寄託期間満了前であっても、寄託者から寄託資料期間内返還申込書の提出があったときは、寄託資料の返還に応ずるものとする。

(寄託資料の一時返還)

第9条 教育委員会は、寄託資料の一時返還をするときは、寄託期間中に寄託者から寄託資料一時返還申込書を徴するものとする。

2 一時返還の期間は、60日を限度とする。ただし、特別の事由がある場合は、その期間を延長することができる。

3 一時返還の期間中における寄託資料の管理については、教育委員会は、その責を負わない。

(寄託資料の所有者変更)

第10条 教育委員会は、寄託者が寄託資料の所有権を移転する場合においては、寄託者から寄託資料所有者変更届を徴するとともに、受託証書の返還を受けなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は寄託者の死亡に伴い相続が発生したときは、相続により当該寄託資料の所有権を取得した者から、寄託資料所有変更届を徴するものとする。

(受託証書の再交付)

第11条 教育委員会は、前条の規定により寄託資料の所有者の変更が生じた場合は、受託証書の再交付を行うものとする。

2 教育委員会は、寄託者が受託証書を亡失、滅失又は破損した場合は、寄託者にこれらの事由を記載した書面によって受託証書の再交付を申請させるものとする。

(資料の館外貸出し)

第12条 資料の館外貸出しについては、松戸市立博物館管理運営規則第7条に定めるもののほか、次条及び第14条の規定によるものとする。

(資料の館外貸出条件)

第13条 教育委員会は、資料の館外貸出しをしようとするときは、次の各号に掲げる条件を明示するものとする。

(1) 貸出しを受けた者(以下「借受人」という。)は、貸出しを受けた資料(以下「貸出資料」という。)を善良なる管理者の注意をもって管理すること。

(2) 貸出資料の取扱い、学芸員又はこれと同等の資格を有すると認められる者が行うこと。

(3) 貸出し期間中に貸出資料の保管等のために要する費用は、全て借受人の負担とすること。

(4) 借受人は、貸出資料を貸出目的以外の用に供してはならない。

(5) 貸出資料を展示する場合は、原則としてケース内展示とし、松戸市立博物館所蔵の旨を明示すること。

(6) 借受人は、貸出資料を滅失し、又はき損したときは、これによって生じた損害を賠償すること。

(7) 借受人は、資料借用申込書に記載した事項を遵守すること。

(8) 借受人において、貸出条件に違反する行為があるとき又は特別の事由が生じたときは、貸出期間中であっても貸出を取り消す場合があること及びこの場合において生じた損害については、教育委員会は其の責を負わないものであること。

(9) 博物館職員の指示に従うこと。

(10) その他必要と認められる条件

(借用書の徴収)

第14条 教育委員会は、貸出資料と引き替えに借受人から資料借用書を徴するものとする。

(資料の借入れ)

第15条 教育委員会は、博物館における展示、研究等のために資料の借入れをするときは、借入れする資料(以下「借受資料」という。)の受領の際、資料預り証を資料の貸主に交付するものとする。

(借受資料の返還)

第16条 借受資料の返還は、資料預り証と引き替

えに行うものとする。

(特別利用の申込み)

第 17 条 資料について、調査、写真撮影等の特別な利用（以下「特別利用」という。）をしようとする者は、資料特別利用申込書（寄託資料にあつては 資料特別利用申込書及び所有者の承諾書）を教育委員会に提出して申込まなければならない。

(特別利用の承認)

第 18 条 教育委員会は、前条の申込みがあった場合において、資料の特別利用を承認したときは、当該申込者に資料特別利用承認書を交付するものとする。

(特別利用の条件)

第 19 条 教育委員会は、特別利用の承認をするときは、次の各号に掲げる条件を明示するものとする。

- (1) 資料の特別利用申込書に記載した目的以外の用に供してはならないこと。
- (2) 出版物等に掲載する場合は、松戸市立博物館所蔵の旨を明示すること。
- (3) 出版物等に掲載する場合は、博物館（寄託資料にあつては、博物館及びその所有者）に出版物等を寄贈すること。
- (4) 博物館職員の指示に従うこと。
- (5) その他必要と認める条件

(申込書等の様式)

第 20 条 この要綱の施行に関し必要な申込書等の様式は、別表の定めるところによる。ただし、特に必要と認める場合は、これらの様式に準じたものをもって手続をすることができる。

(委任)

第 21 条 この要綱の実施に関して必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成 5 年 12 月 1 日から施行する。
- 2 この要綱の施行前になされた資料の寄贈又は寄託による受入れ、貸出し、特別利用その他の手続については、この要綱の相当規定によりなされたものとみなす。

松戸市立博物館紀要投稿規程

(目的)

第 1 条 この規程は、松戸市立博物館紀要（以下「紀要」という。）への投稿に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(資格)

第 2 条 紀要に投稿することができる者は、次の各号に定めるものとする。

- (1) 投稿時において松戸市立博物館の職員である者
- (2) 投稿時において松戸市立博物館の研究員である者
- (3) 過去において松戸市立博物館の職員であった者
- (4) 松戸市立博物館が投稿を依頼した者
- (5) その他松戸市教育委員会が適当と認めた者

(審査)

第 3 条 原稿の掲載の可否は、松戸市立博物館紀要査読規程（平成 23 年 10 月 1 日施行。以下「査読規程」という。）にもとづいて松戸市立博物館紀要編集委員会（以下「編集委員会」という。）で査読の上決定し、著者に通知するものとする。

(投稿区分と枚数)

第 4 条 紀要の投稿区分と枚数は、次の各号に定めるところによる。

- (1) 論文 70 枚以内（400 字詰原稿用紙換算）
- (2) 研究ノート 50 枚以内（同上）
- (3) 資料紹介 30 枚以内（同上）
- (4) その他 編集委員会の定めるところによる

2 前項の枚数には、本文、注、参考文献、図表を含めるものとする。

3 投稿する原稿は、未発表のものに限る（刊行予定のものは既発表とみなす）。

(投稿形式)

第 5 条 投稿の形式は、原則として電子文書によるものとし、電子メールの添付ファイルとして送信し、又は電子媒体を編集委員会事務局宛てに送付する方法によるものとする。併せて、電子文書とは別に、紙媒体に印字された原稿を一部送付する。

2 前項の規定にかかわらず、編集委員会が特に必要と認めたときは、紙媒体による投稿をすることができる。この場合における投稿部数は、4 部とする。

3 前2項の原稿を投稿するときは、図1に示す投稿票を添付するものとする。

(締切)

第6条 投稿の締め切りは、毎年10月31日とする。

(校正)

第7条 原稿が受理された以後の本文の書き直しは、校正（明らかな誤字脱字を訂正することを含む。）を除き、これを認めない。

2 前項に規定する校正には、松戸市立博物館紀要執筆要領（以下「執筆要領」という。）にもとづいて形式を訂正することを含む。

3 著者による校正は初校のみとし、再校以後は編集委員会事務局が行うものとする。

(別刷の取り扱い及び掲載誌の贈呈)

第8条 著者には著作が掲載された号の紀要を5部贈呈する。

2 別刷が必要なときは、投稿時に編集委員会事務局あて必要部数を通知するものとし、別刷の作成に必要な経費は著者が負担する。

(委任)

第9条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、松戸市立博物館長が別に定める。

附 則

この規定は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年6月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

図1（用紙規格 J I S A 5）

投稿票

氏名	
タイトル	
投稿区分	
原稿枚数（400字詰原稿用紙換算）	

松戸市立博物館紀要編集委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、松戸市立博物館紀要編集委員会（以下「編集委員会」という。）の設置に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(所掌事務)

第2条 編集委員会は、次の各号に掲げる事項について調査審議するものとする。

(1) 松戸市立博物館紀要に投稿された原稿の掲載の可否に関すること。

(2) その他松戸市立博物館紀要の編集・発行に関し必要な事項

(構成)

第3条 編集委員会の委員は、学識経験を有する者及び関係機関の職員のうちから2名以上の者を松戸市立博物館長（以下「館長」という。）が指名する。

2 編集委員会の委員長は、館長をもってあてる。

(会議)

第4条 編集委員会の会議は委員長が招集し、自ら議長となる。

(意見の聴取)

第5条 編集委員会は、会議に編集委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第6条 編集委員会の庶務は、松戸市立博物館において処理する。

(委任)

第7条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、松戸市立博物館長が別に定める。

附 則

この規程は、平成23年10月1日から施行する。

松戸市立博物館紀要査読規程

(目的)

第1条 この規程は、松戸市立博物館紀要（以下「紀要」という。）に投稿された原稿の査読に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(査読)

第2条 松戸市立博物館紀要編集委員会（以下「編集委員会」という。）は、紀要に投稿された論文、研究ノート及び資料紹介（以下「論文等」という。）について査読を行い、その結果を投稿者に通知す

るものとする。

- 2 編集委員会は、必要に応じて編集委員以外の者に査読を依頼することができる。

(査読方法)

第3条 編集委員会は、査読対象の論文等に関し、別表1に掲げる事項について評価を行う。

(判定)

第4条 編集委員会は、前条の評価に基づいて別表2に掲げる4段階の判定を行う。

- 2 前項の判定は、編集委員の過半数の賛成によって行うものとする。

(委任)

第5条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、松戸市立博物館長が別に定める。

附 則

この規程は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年6月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

- (2) 指摘箇所訂正後に可

2 修正後再審査

- (1) 書き直し後に再審査
- (2) 投稿区分の変更を必要とする

3 掲載否

- (1) 既発表部分が多い
- (2) 「松戸市立博物館紀要」として不適當
- (3) 内容不可

4 判定不能

- (1) 一部他分野の専門家の判断を必要とする
- (2) その他

別表1

1 形式

- (1) 表題・副題の適切さ
- (2) 章・節等の全体構成の適切さ
- (3) 原稿枚数の適切さ
- (4) 投稿区分の妥当性

2 内容

- (1) 素材及び資料の妥当性、提示方法
- (2) 論理展開の明確さ
- (3) 内容の正確さ、完成度
- (4) 結論の提示方法

3 図表等

- (1) 図表の必要性
- (2) 図表の作成、説明の適切さ

4 文献

- (1) 参照文献の妥当性、引用の適切さ

5 表現

- (1) 文章の表現力、読みやすさ

別表2

1 掲載可（再審査不要）

- (1) このままで掲載可

職員名簿（平成 31 年 4 月 1 日現在）

館 長（非 常 勤）	望月 幹夫
次 長	堤 和子
館長補佐	染野 寿郎
館長補佐・学芸員	中山 文人
主 査	中野 裕子
主任主事	山本 直
主 事	武井 駿
主 事	加藤 義隆
主 幹・学芸員	青木 俊也
主 査・学芸員	富澤 達三
主任主事・学芸員	小林 孝秀
再 任 用・学芸員	大森 隆志
再 任 用・学芸員	山田 尚彦

人事異動

〈平成 31 年 4 月 1 日〉（カッコ内は転出後・転入前の所属）

転出：主任主事 渡辺 宏一（すぐやる課）

再 任 用 柏木 一朗（社会教育課）

転入：主 査 中野 裕子（社会教育課 美術館準備室）

主 事 武井 駿（会計課）

松戸市立博物館年報 第 27 号

発 行 日 令和 2 年 9 月 25 日

編集発行 松戸市立博物館

〒270-2252

千葉県松戸市千駄堀 671 番地

電話番号 047-384-8181（代表）

http://www.city.matsudo.chiba.jp/m_muse/

印 刷 株式会社 弘 文 社

Printed in Japan ©2020 MATSUDO MUSEUM

